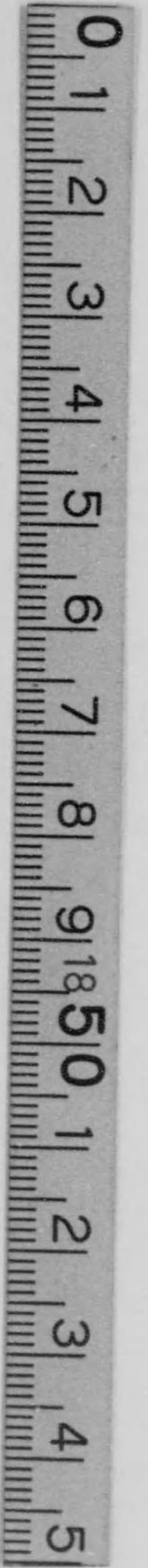


423
167





芳象

一如

賢執題



423
167



風を觀、俗を察するは、人文考察の大題目にして社會研究の好資料たり、この故に、ルツルノーの『社會學』は全篇風俗の記述を以て成り、ブリュールの研究は、特に習慣の論究を重視す。蓋し是れ人種の特質を闡め、文化の内容を明にするに足るものあれば也。今『世界人種風俗寫真帖』刊行せらる異風殊俗、收めて一冊子の裡に在り。覽る者、に由つて見聞を博くし、興味を深くし、更に進んで研讃探究の心を起すあらば、豈に管だ珍を玩び、奇を喜ぶのみに止まらんや。一言以て序とす。

大正十三年二月一日

廣島高等學校長 十 時 彌



序

「汝自身を知れ」とは哲人ソークラテスの教ふる處、蓋しこれ修養の要諦である、而して眞に自己自身を知らんとするには一面他を克く知るの必要がある、是れ現代の教育が廣く智識を世界に求めんと努むる所以である、生を世界に享くるもの其の數約十六億、其の人種は多種多様、其の風俗人情も亦千差萬別である、吾人之を文に讀み之を耳にするは易しと雖も目之を見るは實に難事中の難事である、鐵骨手塚君茲に見る所あり、多年の苦心を以て世界人種風俗寫真帖を作り、今や將に之を廣く天下に頒たんとする、就て之を見るに集むる所の人種百餘、其の風俗人情を記すること簡にして明、學校に於ては之を以て教材に利用すべく、家庭に於ては之に依て家人の見聞を廣むべく、一般の國民は之に依て他を知り己を知るの修養に資するを得る、實に好箇の教育資料である、茲にこの帖の成るを喜び需に應じて序文をものすること斯の如しである

廣島縣立廣島師範學校長 渡 邊 信 治

手塚鐵骨君世界人種風俗寫真帖を編纂せられ世
に頒たんとし序を余に求む余其稿を見るに千種
萬様中には奇々怪々の風を爲すものあり而かも
之を奇とし怪とするは我が彼を知らざるに由る
ものにして彼より我を見れば我も亦恐らくは奇
怪圖中のものたるべし古人曰ふ十人十色と世の
自を以て他を律せんとする者思をこの相互奇怪
觀に致さば發明する處多からん一言以て序とす

大正十三年二月

廣島縣立第一中學校長 弘 瀨 時 治

宇宙の玄妙合して太極の一となり發して森羅萬
象となる無限の空間無限の包藏は人智の能く窮
め盡す所にあらず況んや是れを目前に現はすに
於てをやケケル探檢隊の一奇士手塚鐵骨君一帖
を冊して造化の微を徵す蓋し格致の要を得たる
ものとならんか之を序となす

大正十三年二月二日

廣島縣立廣島高等女學校長 齋藤鹿三郎

序

母のお伽、桃太郎の鬼が島征伐のお話に微笑む兒が早此繪に親しむことが出来ませう、人類は一種一屬 HOMO. SAPIENCE と申せば無味無臭簡單明瞭であります、又伊太利の「ネーブルス」の「ヴァニニ」が「豚と猿と蛙とが死んで其れが腐つた中から人が出て來たと申しました程に、譯のわからない、不思議なものは人間であります、家庭に、學校に教師に學者に、人種と其風俗の珍らしい繪を提供されます鐵骨、手塚さんの苦心の結晶は確かに幾多の人々の興味を惹くに十分なるものと信ずる次第であります。

廣島市高等女學校長 今堀友市

趣味か。道樂か。鐵骨君の其れが凝つて斯の帖
と爲つたのである。彼の清い趣味、高尚な道樂
の結果が、教育資料として有益なる此の貢獻を
齎したのである。而して私は、居ながら、世界人
種風俗の展覽會を机上に開催し得ることを多と
して、本帖が世に洽く流布せんことを希望する
者である。

大正十三年二月

廣島女學校高等女學部長 兒玉彌三郎

今日地球面上に棲息する人類はその數約十七億所を異にするに従つて容貌を異にし、地を距つるに従つて習俗も亦同じくない我等地理學に志す者にとりては此等の一として研究の資料とならないものはない

手塚鐵骨君は嘗てケネル探檢隊に加つて南船北馬しその間に蒐集した人種風俗に關する幾多の寫真中から最も珍奇なもの百餘種を選びこれを梓に上さるゝと聞く。これが發行の曉には必ずや教育上の參考資料たるを疑はない歐米に於ては珍らしくなき此種の出版物も我國ではまだ寥々たるの感があるこれ余が敢て本書を世に紹介せんとする所以である

大正十三年二月

廣島高師地理學教室にて 高尾常磐

本寫眞帖は余が米國ケンタツキー州ケネル探檢
隊に加はりて殆んど十年間北は寒帶南は熱帶諸
地方を跋渉せる際に蒐集したるものと知人より
借り入れたるものを以て調製したるなり余幼
より好むで考古雜誌探檢雜誌を讀みたりしが長
じて鑛物學を修め鑛物を拾ひ古器物を收むるを
道樂とせり已にして米國に遊びジョージエール
氏の書生となり又ベルータ氏の助手となりて斯
學研究の傍ら人類學をも兼修せり此時偶々探檢
隊に入る事となり爲めに此等の寫眞帖を集むる
の便宜を得たり是即ち本帖を發行するに至る經
路となす庶幾くば本帖に據りて世界各人種の特
殊なる風習の一斑を窺知し以て教育の一助に資
するを獲ば余が本懷なり

手塚鐵骨謹識

- 1 北歐ラブランド
- 2 アフガニスタン
- 3 英國ウエールス (イングランド)
- 4 露西亞
- 5 コーカサス
- 6 エヂプト
- 7 アビシニア (亞弗利加東北部)
- 8 アルゼリア (亞弗利加西北部)
- 9 西部亞弗利加
- 10 亞弗利加中部 (チアード湖東南附近)
- 11 亞弗利加中部 (チアード湖東南附近)
- 12 亞弗利加中部 (チアード湖東南附近)
- 13 亞弗利加中部 (チアード湖東南附近)
- 14 バンカラ
- 15 亞弗利加中部 (チアード湖東南附近)
- 16 亞弗利加 (ヴィクトリアニアンザ湖附近)
- 17 亞弗利加 (ヴィクトリアニアンザ湖附近)
- 18 亞弗利加 (ズールランド)
- 19 亞弗利加 (ズールランド)
- 20 亞弗利加 (ズールランド)
- 21 亞弗利加 (ズールランド)
- 22 亞弗利加 (ズールランド)
- 23 亞弗利加 (ズールランド)
- 24 (中部亞弗利加ナイル河)
- 25 亞弗利加南部
- 26 アムール河
- 27 シベリア東北
- 28 滿洲
- 29 支那東部
- 30 蒙古

- 60 南米バタゴニア (アルゼンチン)
- 59 南米コロシビア
- 58 シベリア西北
- 57 北米ヒュロン湖東北
- 56 メキシコ中部
- 55 アラスカ
- 54 北米合衆國ニューメキシコ州
- 53 オーストラリア北部
- 52 アラスカ
- 51 オーストラリア
- 50 ニュージールランド
- 49 ソロモン諸島
- 48 サモア島
- 47 ニュージーニー
- 46 ニュージーニー
- 45 カロリン群島
- 44 ジャバ島
- 43 セレベス (馬來群島中)
- 42 カロリン群島
- 41 ボルネオ島
- 40 ファイリツピン群島
- 39 マレー半島
- 38 印度南部
- 37 印度南部
- 36 印度南部
- 35 印度南部
- 34 ベンガル灣
- 33 ビルマ北部
- 32 西藏
- 31 西藏

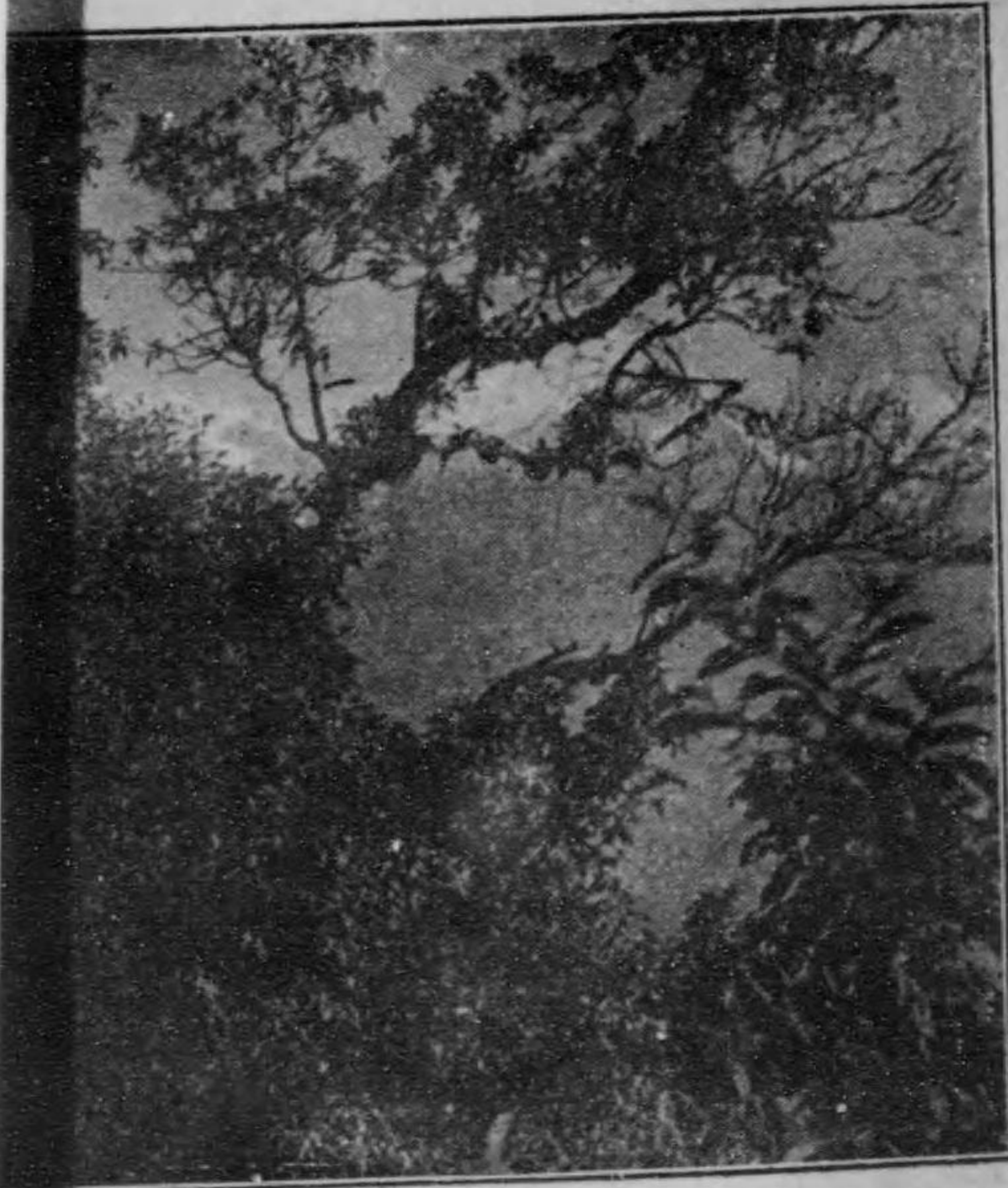
- 68 裏海北方
- 67 (トルコ)
- 66 スペイン
- 65 オランダ
- 64 インデアン (南米)
- 63 インデアン (南米)
- 62 インデアン (南米)
- 61 インデアン (南米)

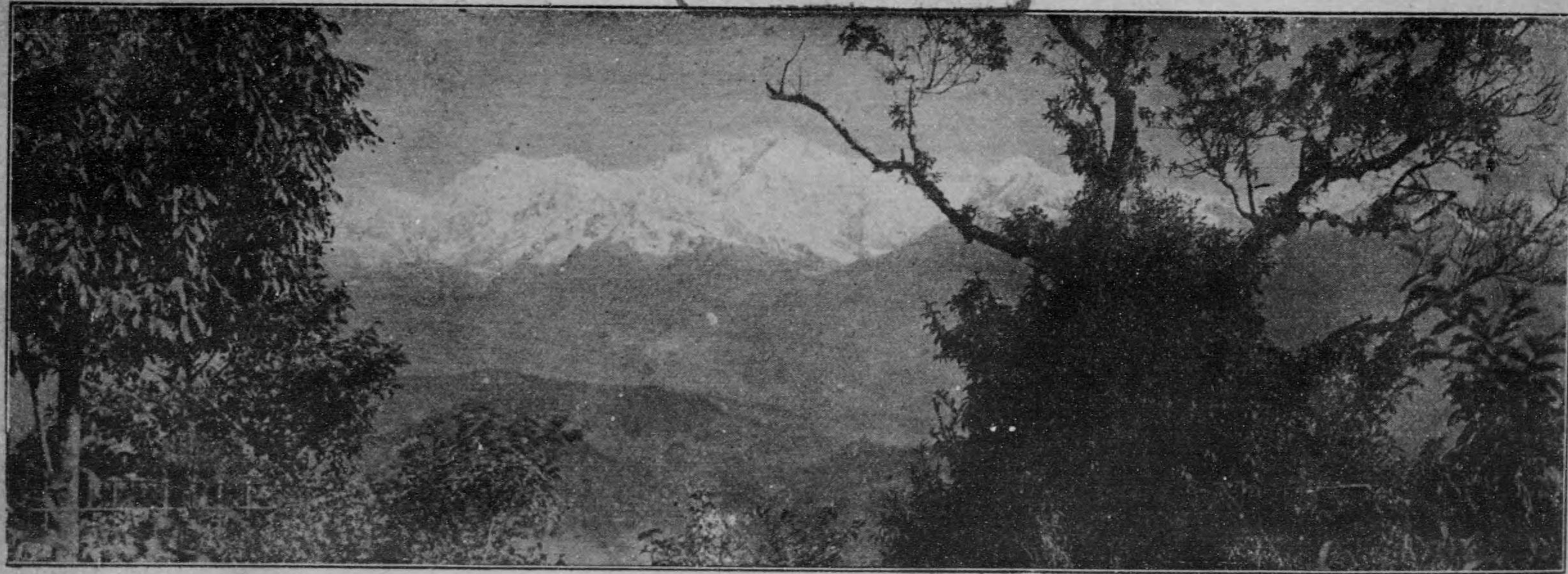
56 メキシコ中部
57 北米ヒューロン湖東北
58 シベリア西北
59 南米コロシビア
60 南米バタゴニア (アルゼンチン)

61 インデアン (南米)
62 インデアン (南米)
63 インデアン (南米)
64 オランダ
65 スペイン
66 (トルコ)
67 裏海北方
68 裏海東方
69 西部アフリカ (ナイジェル河)
70 アラビア
71 中部アフリカ
72 亞弗利加 (ジイクトリアニアンザ東北)
73 東部アフリカ
74 アビシニア (アフリカ東北)
75 アダガスカル島
76 南アフリカ
77 アフリカ西南
78 北氷洋
79 (黒龍江)
80 北海道
81 亞弗利加南端
82 台灣
83 支那雲南省
84 シヤム
85 印度北部
86 印度北部アッサム
87 支那貴州省
88 印度アッサム東部
89 印度大部
90 セイロン島

112111110109108107106105104103102101100 99 98 97 96 95 94 93 92 91

スマトラ西南
ボルネオ島
ジャバ島
フィリッピン
ニュギニー
フィジー諸島
トンガ諸島
オーストラリア東南
ハワイ
オーストラリア東方
オーストラリア東北
アラスカ
北米合衆國モンタナ州
北米合衆國
北米合衆國カリフォルニア
南米北海岸
南米コロンビア東部
南米コロンビア東部
南米南端
カナダ、バンクーバー
南米東部 (ブラジル)
南米中部

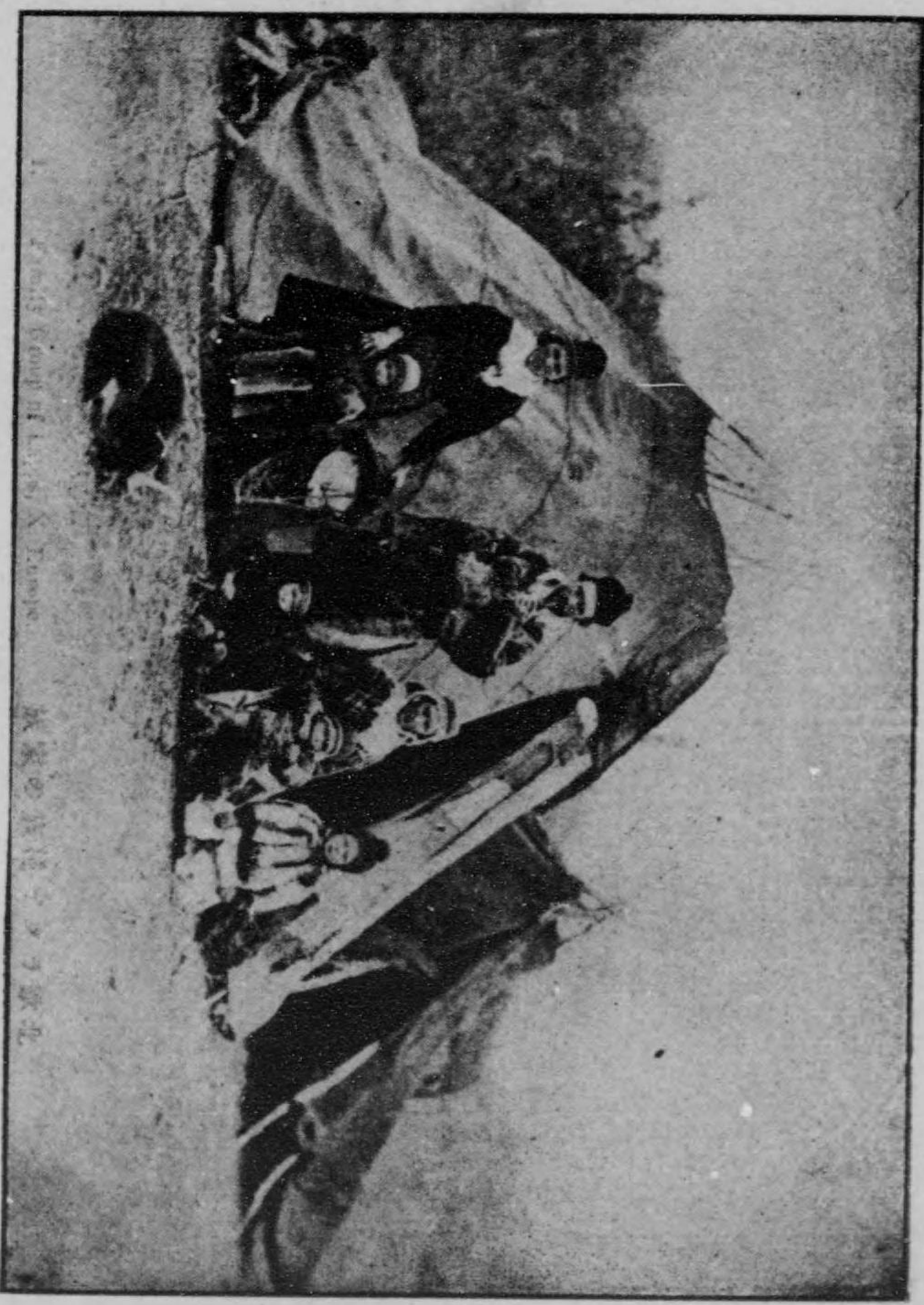




世界奇観印度ダジーノ雪景

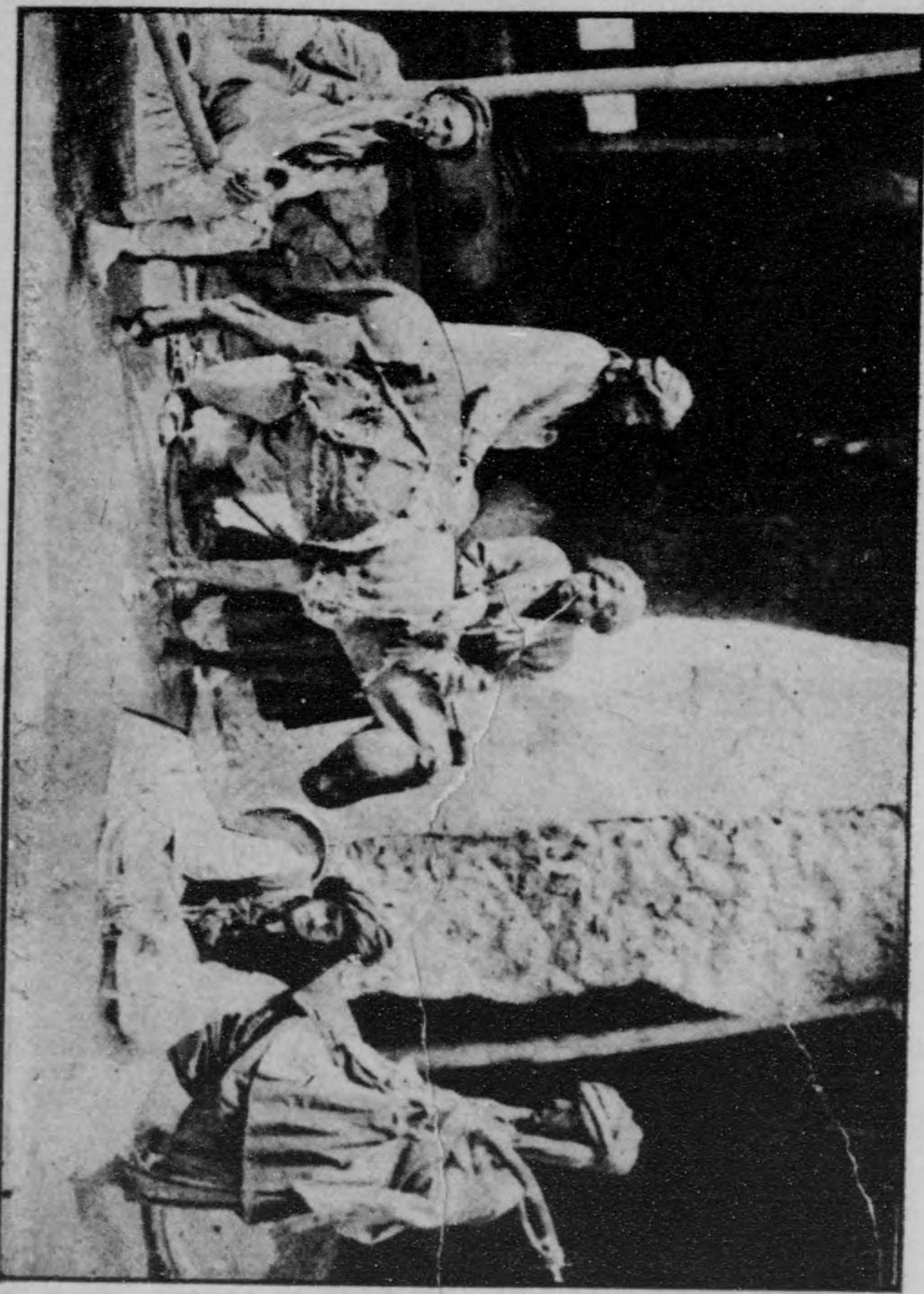
ムシラザエ堪ニ嘆驚絶怪絶奇シ現ヲ彩色ノ化萬變千ハ雪ノ古千ルニ映ニ肝朝
。リナメ爲ガレ是シ蓋ル集ニ此ノ家行旅米歐

る諸族と同種族なり天幕帳を以て住居とし馴鹿を夥多飼養す馴鹿は此種族にこりては極めて大切なものにして其皮は衣服の材料となり肉は食用に供せり



(1) ラツプ種族は北歐ラツプに生存するものにして其周圍に住する所謂シロツプ人種とは系統を異にしてラツプの主要な

右の頭には長き布を巻き着く是れをカールペンと稱す即ち一種の頭巾なり又防禦用として羊毛の外套を用ひ



(2) シロツプ人種なり男子は其衣服に連する上装を短きカールペンと稱す





はに頭ひ纏を服衣るあ様模の形花るな美華は婦農のアシロ (4)
と飾耳と飾頭るたね運を球小き戴を物被るせ着密く如の巻鉢もか恰
ゆ用を



きさる見りよ上の種人をれ之はのもるす成形を民園英の今 (3)
りな族第の等シツリイア及チツコス人スルーエウ人ドンラゲンイは
の白くな別の若老は子女りな人スルーエウの内其ち即は圖本 すま
すなと色特て以かく戴を朝の状筒圓に上其り被をのもの様巾頭



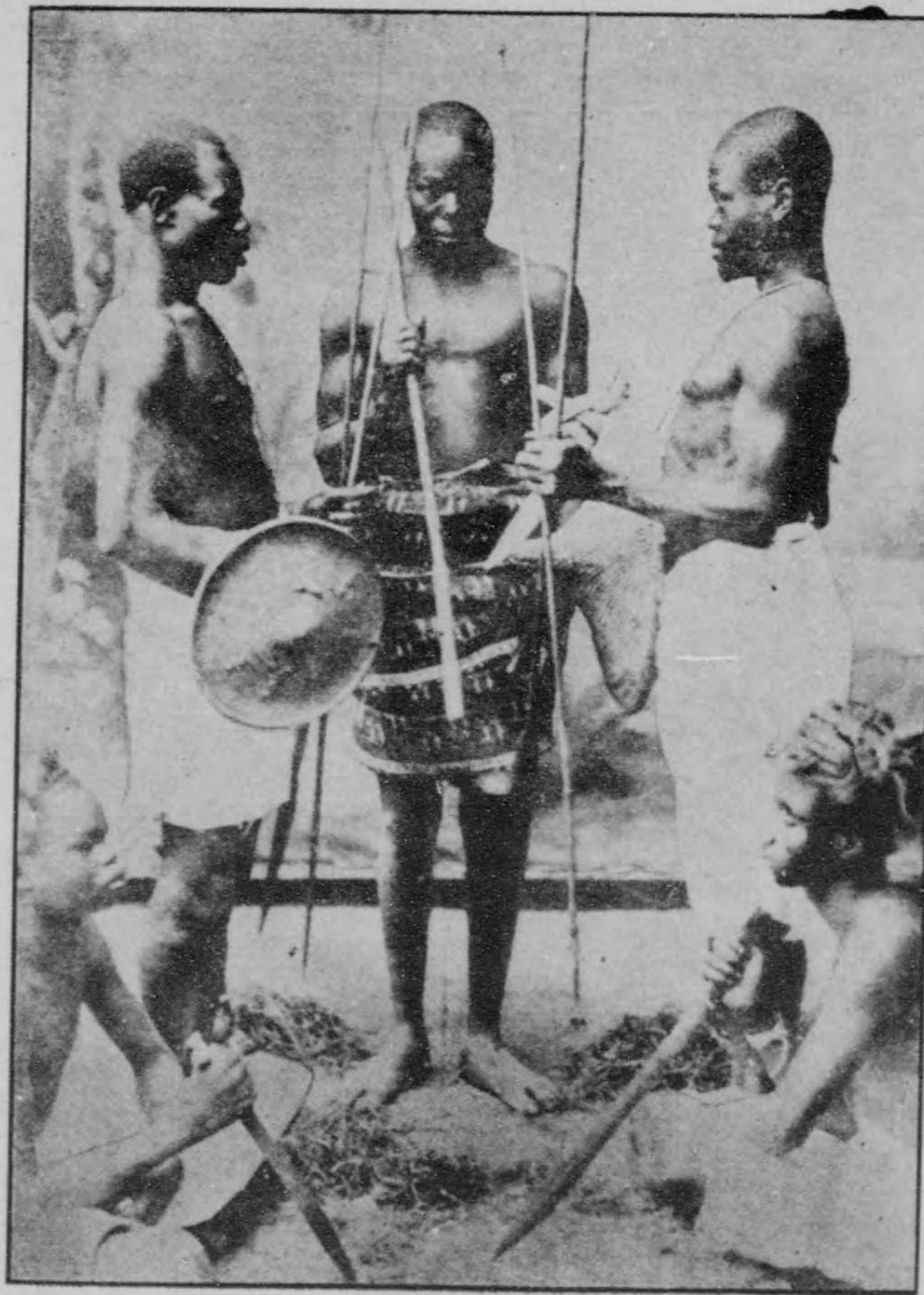
は者前つ分に族二の一ヲエフが及トブコリよ主教宗は人トブツエ
も異差の等阿はに上極入ばれさ *りな徒教々回は者後りな牧蘇耶
しな



者るな要主其もてに中種人バツローヨ謂所は族種諸のヌサカーユ
りお所る異々槍はこ



ミシシピカの其は圖りあ族種數してひ云と民住アリセルア (8)
種人黒もどれす住にカリブアは族種レイバカリな子女の族種るく名
しるす屬に種人の統系パツローヨに共と華人トブラエてしす非はに
こるぶ帯を品飾装の装履金に分部諸の体身てしとめ始を部頭りなの
し如の圖と



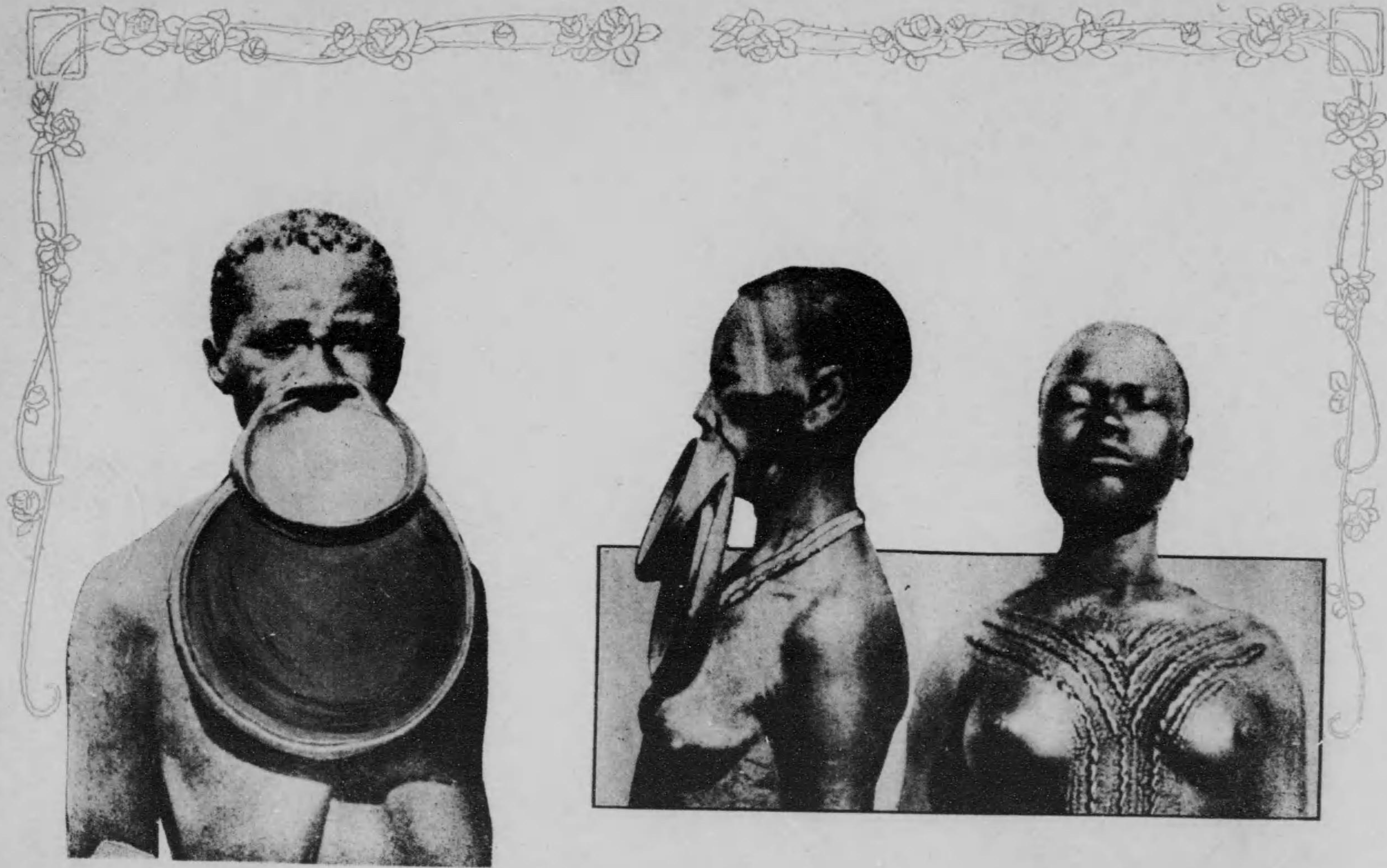
の側左し如がるな種雜のミ人黒と族ツミセは人アニシピア (7)
りな槍はるな手左てしに器の有固はるて持に手右が者



黒洲所るす住に方南東の湖ドクアノのカリフアは族種リサ。(10)
 試な税同平の製木に之を穿を孔に穿もは子女 りな族一の種人黒謂
 り風のスなと美て以なるな人影の飾めしらな大を孔具次漸て



所るす住に一ニギリラエシのカリフア部西は族種一ヤンメ。(9)
 製は彫花の面顔りな体裸外のふ纏り布に腰りな族一の種人黒謂
 女の方地此てしに飾飾装るれ作てに角の鱗半はるれ吊りよ肩飾顔の
 巾用しを穿腕腕の製銀飾項池其る見を、るは行く善はに子

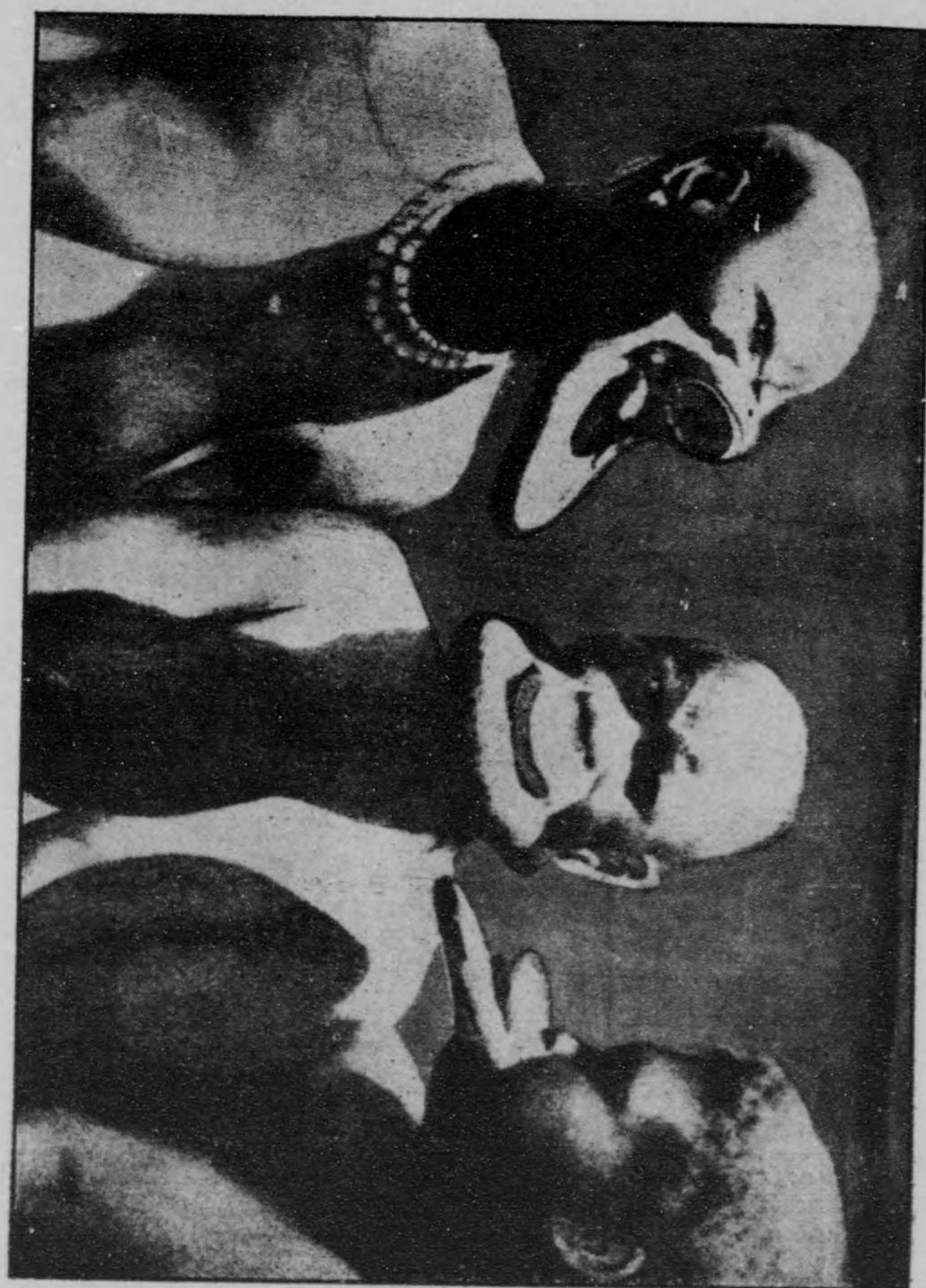


北の湖のメサヤド、メソリルに聞北の湖メサヤド
 人

した身文に胸に人美の路部のメサヤド、メサヤド
 かなまはるぬ左るるで人美なれなる居てけつり形を比較



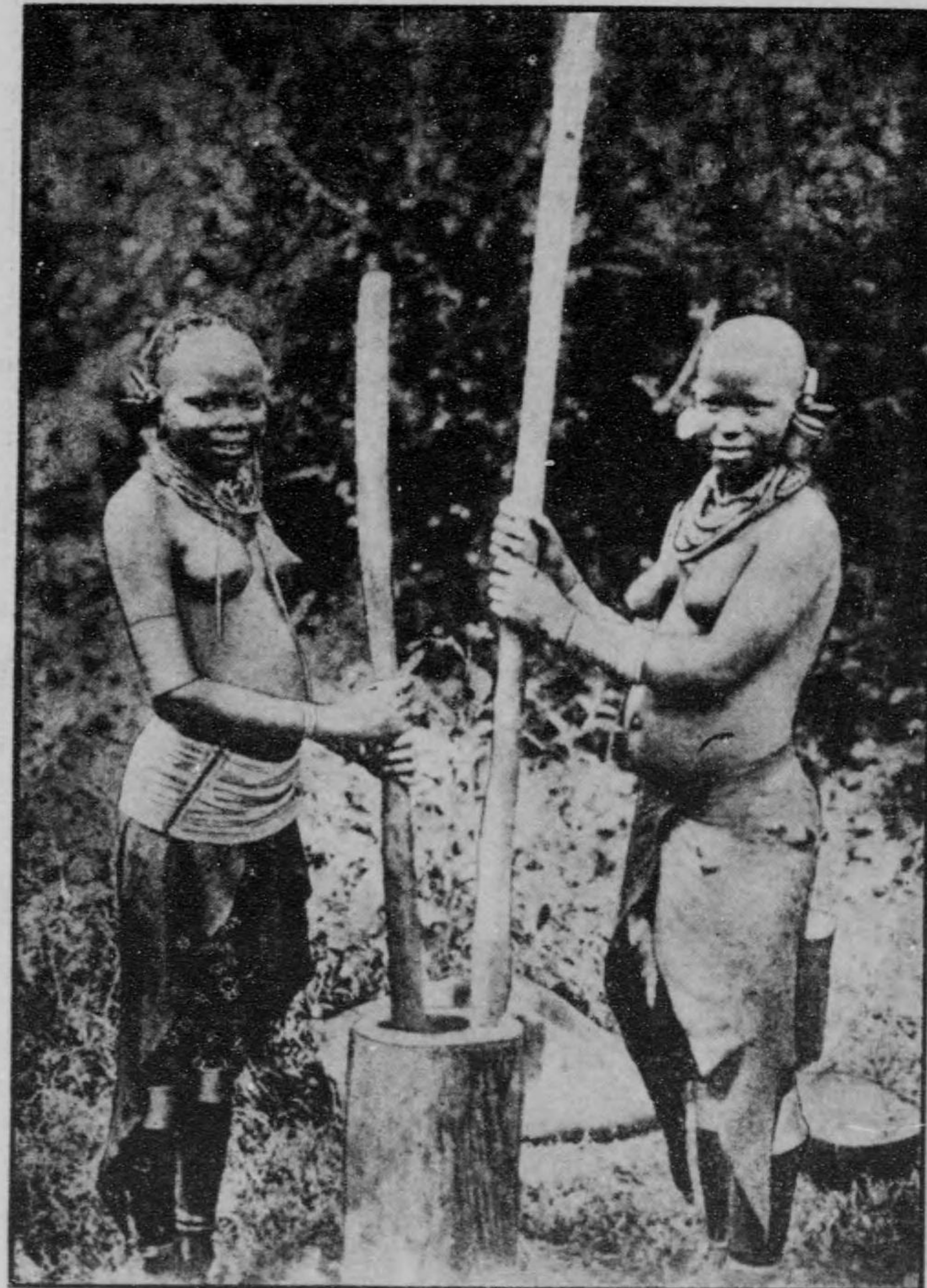
(16) 方東のザンビアリトクイツ族種イサマにのしるす仕に
 丸の製木にれ之てち穿を穴に垂耳り、頃の少幼に共女男てし
 に更し増なさ太の棒共次漸送るなく如の環るれ作てに革もか恰め鉄
 鐵しに腕外の部胸又すなま飾装てし吊を物の形を過はく若鎖の製鐵
 くれ飾を身てめ族を環の製



(17) 佛領アフリカ、サラス、ドナンマンの一種族の美人なり



西アフリカにドンラール部のシリファ部は族種ールズ (18)
 付き巻、つ本敷つ且れ縮は髪頭りな族小一の種人黒るす稱と一ツ
 標髪飾るな小の條幾き短ばに代時女處すなき例通なるさならなく長て
 し髪を顔の糸しば延丈る得來出なれ之ばけつ近期婚りあご置しなき
 な兒赤中圓りあにむ包り髪を物の氣物續き赤にれ之しなき状筒割て
 りなれ是ら即は者るけ懐



人黒るす住に方東のザンニアリトカイグは族種エキロ (17)
 なのとよ如の羽合き無袖は者婚外の本體を皮獸に腰りな族一の種
 なるぐ舉を子一しとせ髪を等飾耳飾腕はけつ近期婚りあご置しなき
 すと例通なるす去髪ね概は品飾装の等此ばれ至



Young Zulus

兒小の人スラエジン・加利弗阿南 (20)



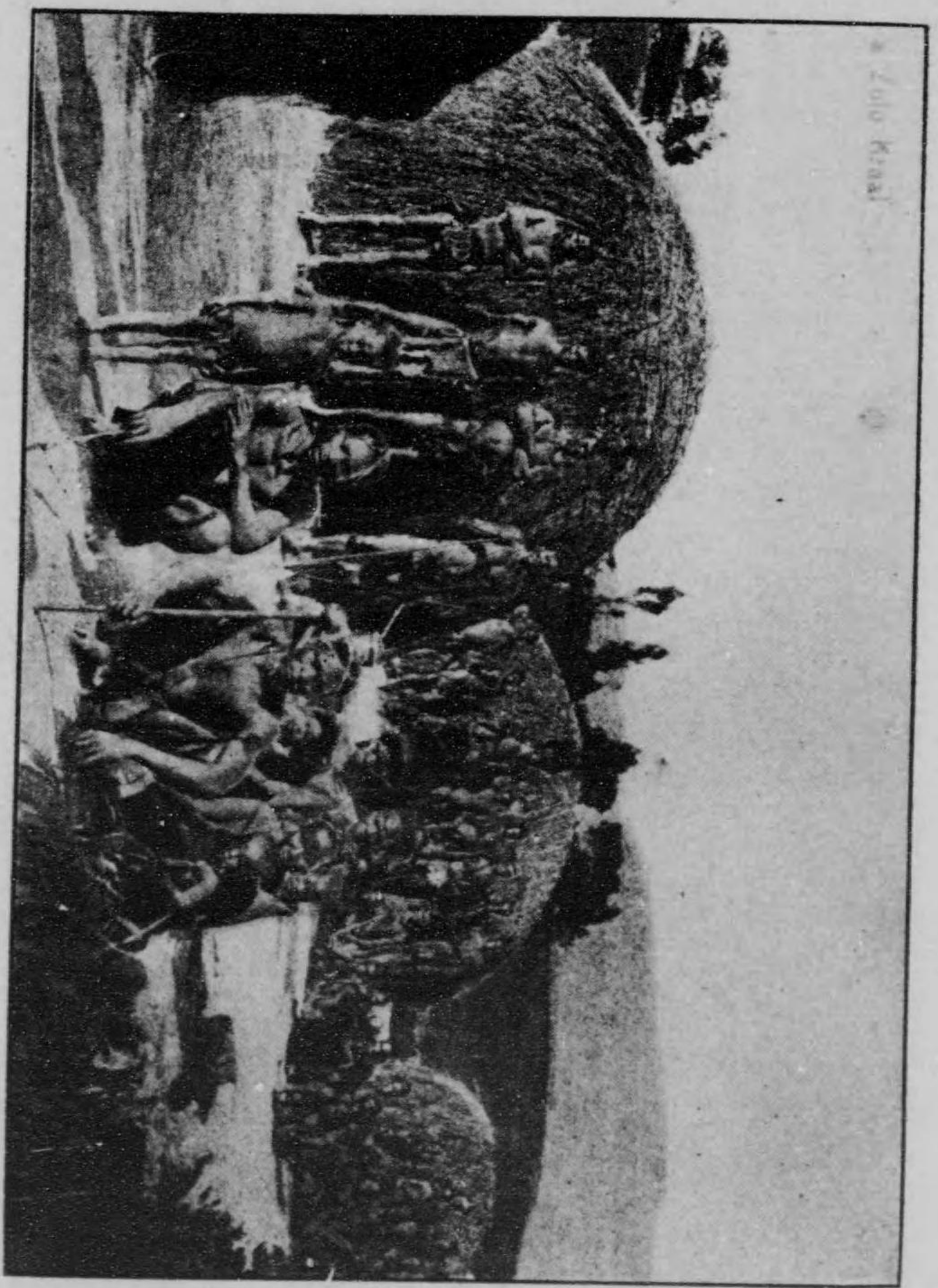
人婦の種人—ケーブ加利弗阿南 (19)



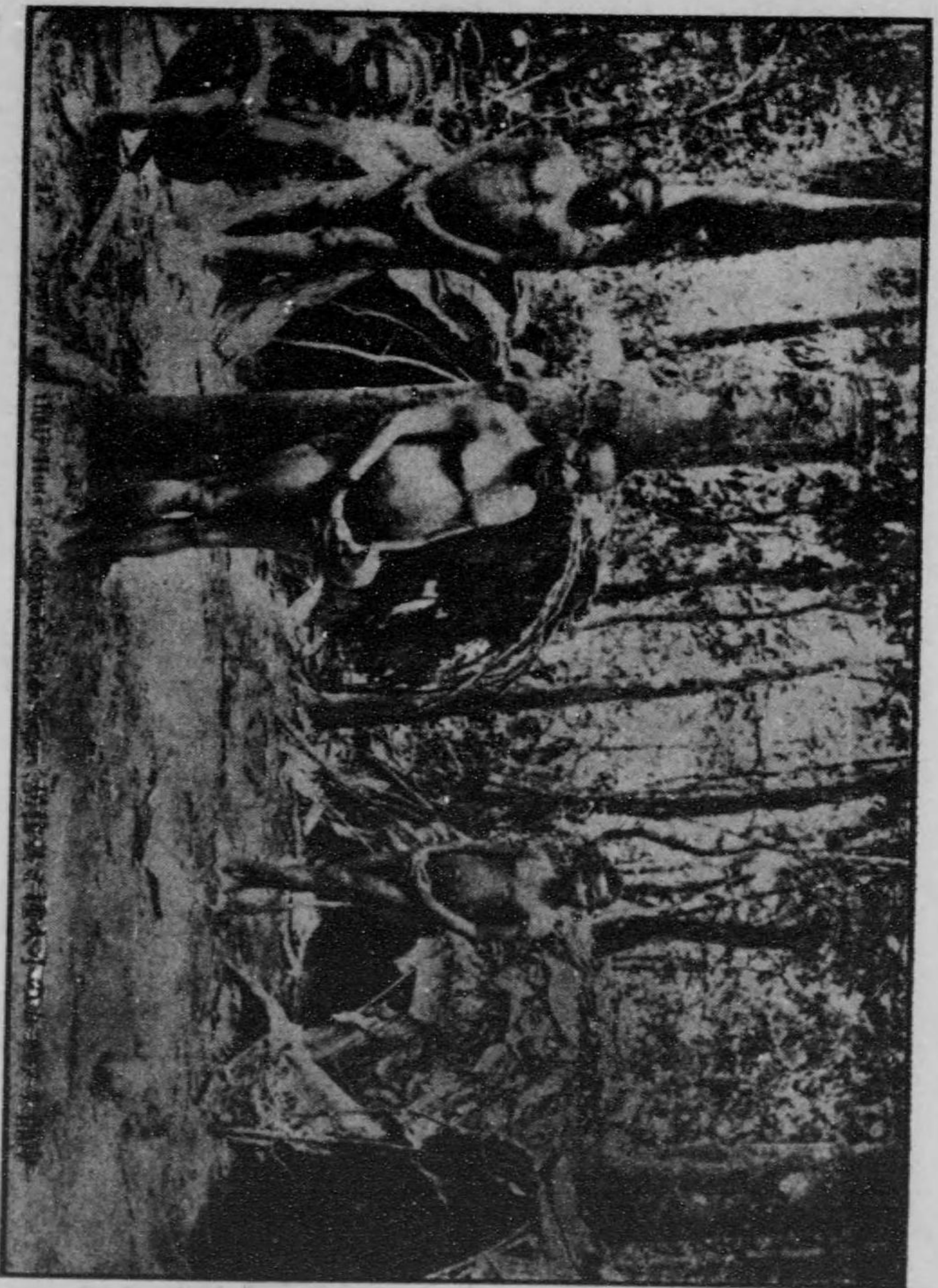
族種一のドンラールズ加利弗亞南 (22)



人婦のドンラールズ (21)



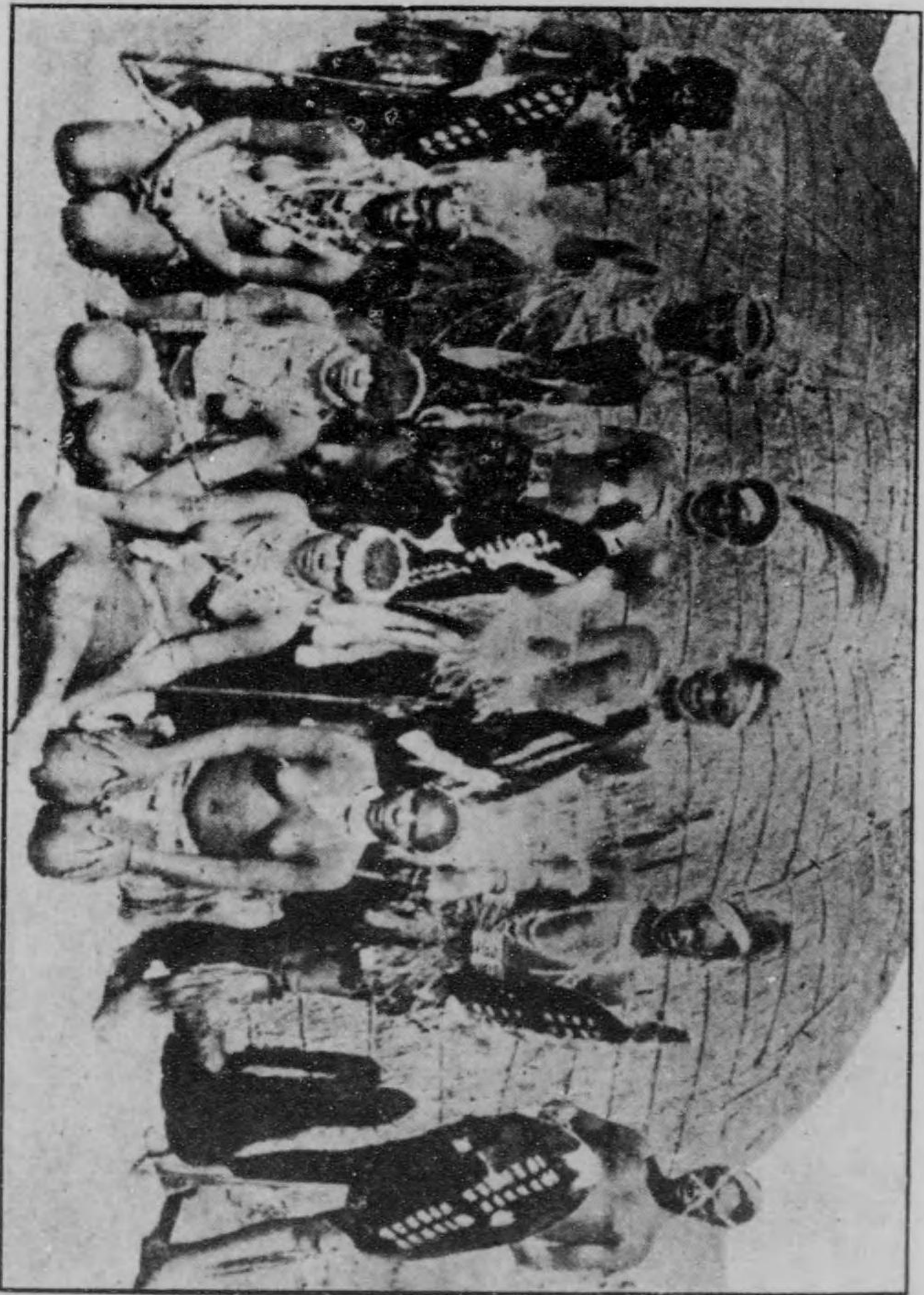
(23) 亞弗利加アールランド人にして背後の半圓形をなせるは其住家なり



(24) 中部アマリカ州ナイル河の上流地方には小人種生存し其身長は男子にて平均僅かに四尺五寸なり其生活状態極めて劣等

にして身には一物だも纏はざる者あるのみならず住居の如きも樹枝樹葉を用ひて造り僅かに雨露を防ぐに過ぎざる小屋なり





(235) カリア種族はアフリカの南部に住するものにして黑人種に屬す男女共に僅かに腰帶を蔽ふに過ぎず然れども頭飾胸飾等を用いて其体を裝へり



(236) エルヤ種族はアマール河の下流に住するツンガール種族の一族なり男女共に辨髪にして之れを背披に垂るゝこと恰かも支那

人の如し衣服としては木綿の類を以て作りたる筒袖のものを着し之れにズボンの如きものを穿つ住居としては天幕張を用ゆ





は式形の髮結千女てしに族種別く全はと族美耶支は人州滿 (28)
 四てり去き炭を毛初の際生もどれな一同は迄位歳十五上以歳九八十
 りせなと形角



岸海てしにのしるす住に部北東のアリベシは族種チグェチ (27)
 馴ゆ用を皮の獸海てしと料材の服衣てしと主はのしるす存生く近に
 よと引股と衣上は服衣てし而りせ用使を皮其は者るす養飼く多た鹿
 つ穿を靴の製革にれ之り成り



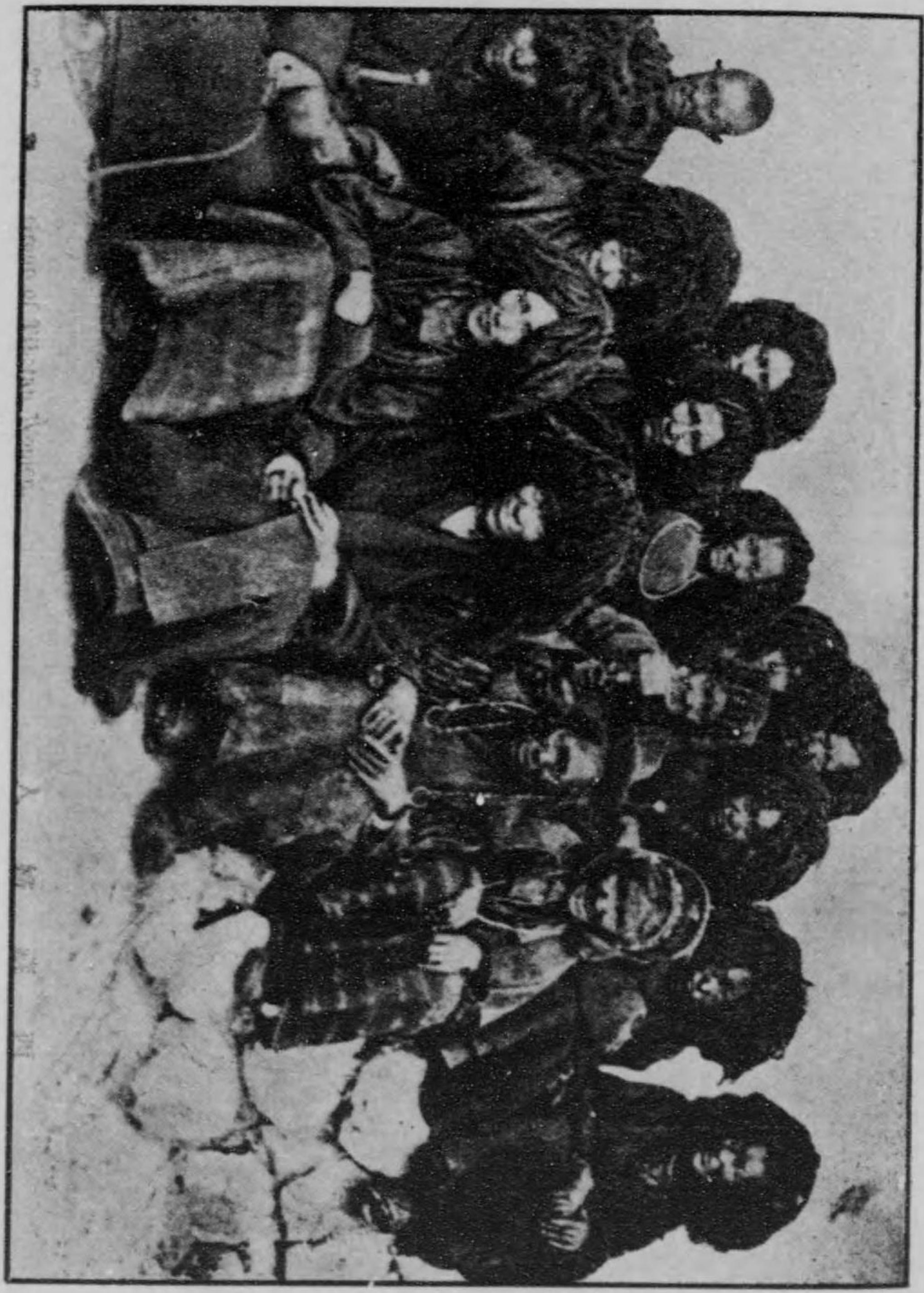
もるす住に部南のアツロび及部西の古蒙は族種クツマカ (30)
 垂でま邊の肩かれ之しなと髪辨の條二てみ編を髪頭は子女てしにの
 し如がる見に圓まこす施を飾装に耳さ戴を子箱は



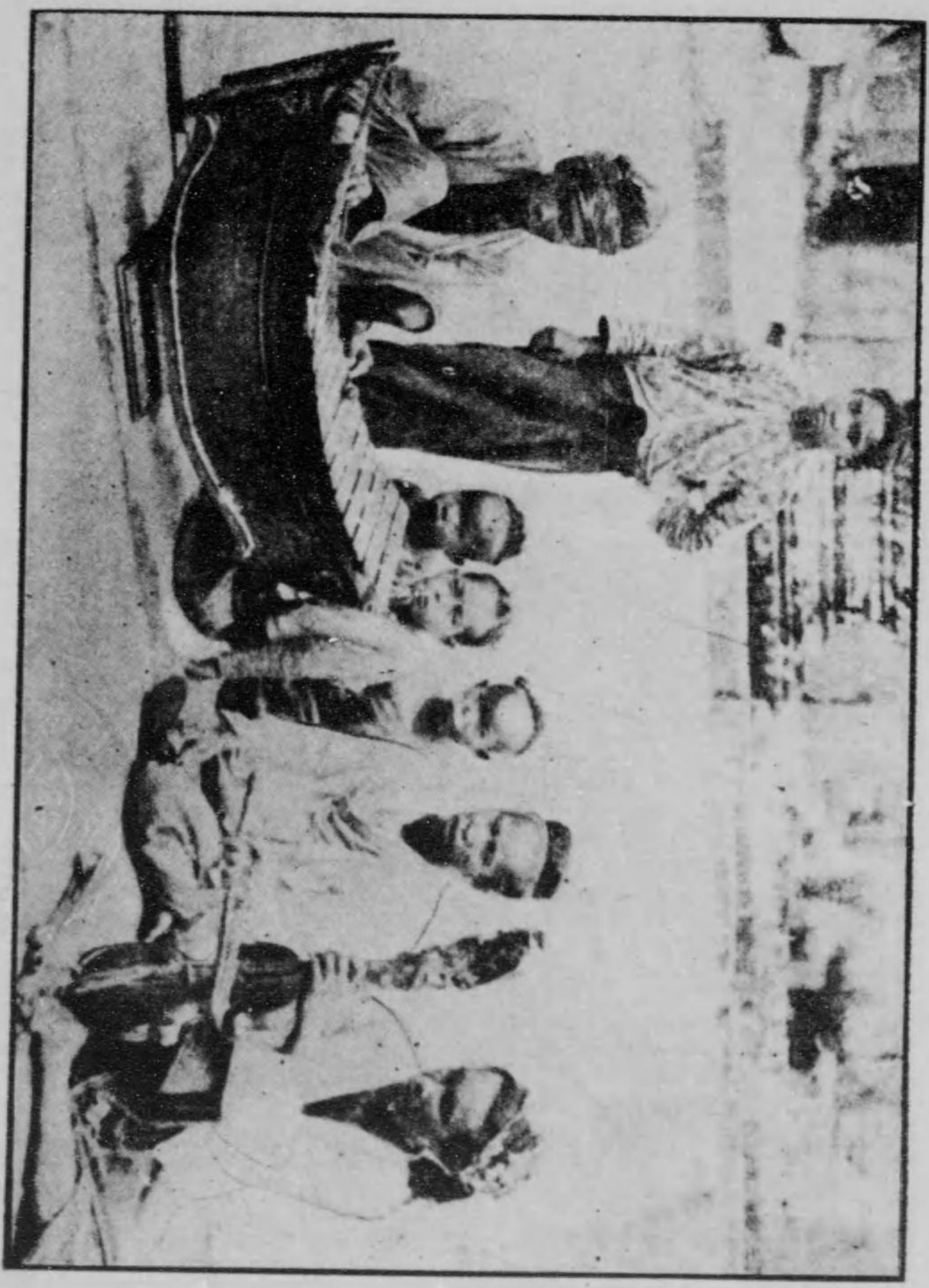
區の服常禮服に共女男は裝服其りな謂の族漢はま人郡支 (29)
 は二一も稱名其つ且りあ別差亦してりよに等節季級階論勿はるあ別
 すなと足纏をのるあ色持も最中俗風の人婦てし面すらま止



の手にあるは煙筒とも稱すべきものにして之れを回轉して讀經に代
ゆるにあり

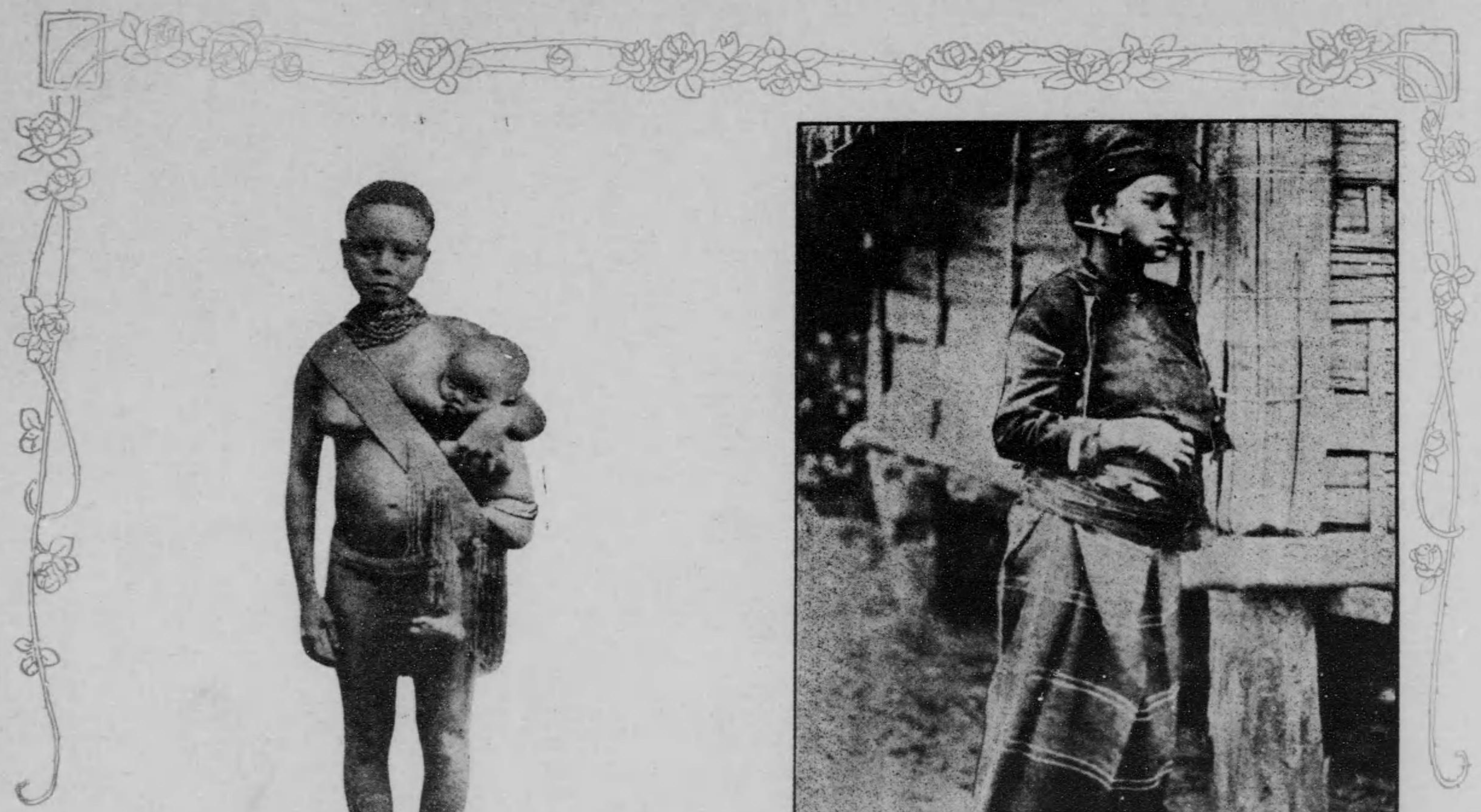


(311) 西藏婦人の頭に戴けるは毛にて作れる一種の帽子にして多数
の中には夥多の眞珠などを織めたる高似の物あり又寶石等々
運れたる頭飾を掛け耳には耳環其他の裝飾品を帶べり中央の老婦人



(312) ヒルマ人に於て路傍に樂を奏する處なり左方なる樂器はカ
ホチア地方にも亦行はる





ダンアるす存在に内海ルゲンへのドンイは族種レマダンア (34)
 族種一同これ之りな小短長身く黒膚皮れ縮は髪頭す住に島諸シマ
 の島牛一レマび及族種ツエアるす居古に部一の島野シロツリイフは
 纏らだ物一に身共女男は等彼りなれ之族種ゲンマセるせ存生に諸南
 りなのもるさは



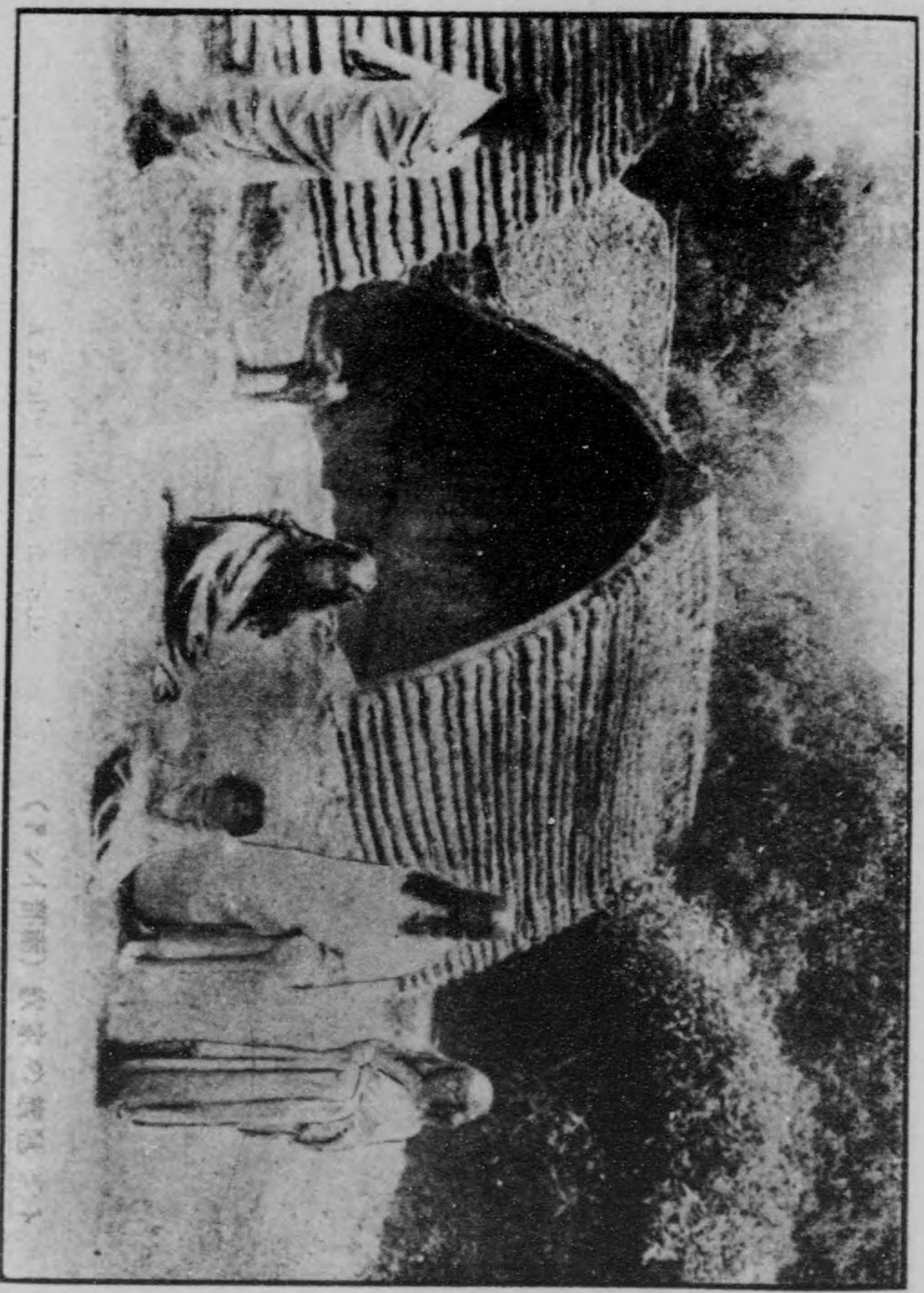
ケンチ名一てしにのしるす住に部北のマルヒは族種ンチカ (33)
 すなと飾装てめ族た物の形棒に垂耳す稱しと一ガ



族一の族>アトイマラチマで件に部南ド>イは族種<マ>で部
イなど再説て以み物の世々望の對人金に等足、時、對、可、餘りも

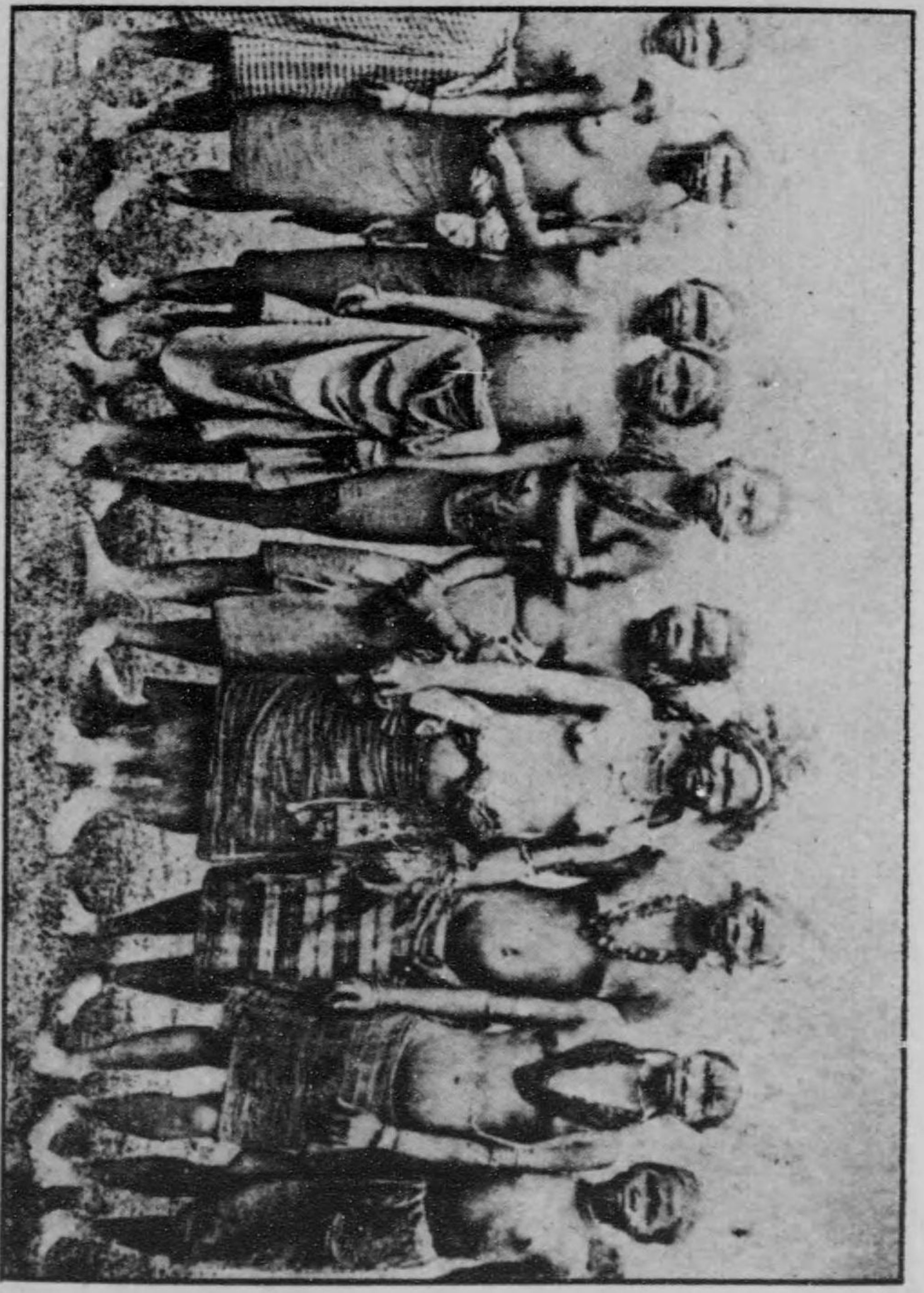


るす付に、ミヒキに全なる北南のド>イは族種<マ>で部
イ黒も起色の部成中族種清さど地此して族一の族>アトイマ
チマの力地此しこれに續うるす期思る部此の的人思て了部
み云としな疑とこる



(37) トダ種族は南部インドのニルツリヘルムに住するドラグアン
サアン族の一族にして男子は頭髪及び体毛に富む男女共に自

布を纏ふて身を蔽ふ住居は桶を縫断して伏せたるが如き形状を呈し
入口の前は屋根も兩側も共に前方に突出し入口は極めて少なり



(38) メノイ種族はニューギニア島の南端に住する未開野蠻の一種族に
してメヘー族にはあらざるが如く彼等は全身裸体にして僅か

に腰部に布を纏ふに過ぎず女子は顔面に模様を画きて裝飾となす





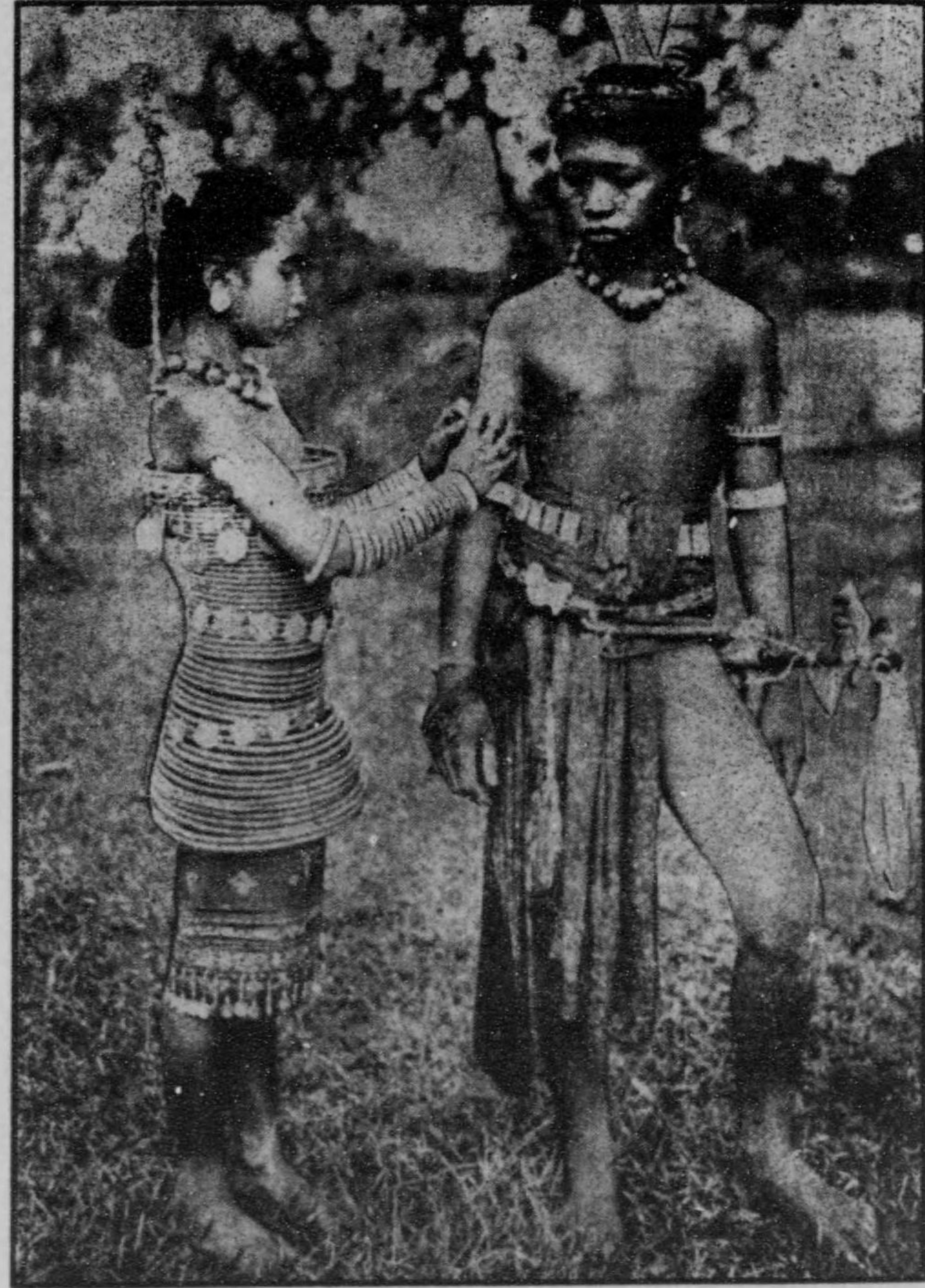
小に西島の他其島にシマウマは族種タエア (40)
 族種の統系同とれ之を種人々の毛縮色異なる存年ては成形を休閑
 に島語ンダシアるす存在に内諸アヤンベ伊及東南の島半ニヤムは
 りよ族種以外の多量な毛縮を縮と族トアアニて種種が等是す住
 頭は者の方右りあのもの世用者も物の様之ヤシるた得てり依に具交
 すなと飾てけ掛を得るたれ連を質子の量加に



小に西島の他其島にシマウマは族種のタエア、クワトシボ (41)
 族種の統系同とれ之を種人々の毛縮色異なる存年ては成形を休閑
 に島語ンダシアるす存在に内諸アヤンベ伊及東南の島半ニヤムは
 りよ族種以外の多量な毛縮を縮と族トアアニて種種が等是す住
 頭は者の方右りあのもの世用者も物の様之ヤシるた得てり依に具交
 すなと飾てけ掛を得るたれ連を質子の量加に



に人士の島諸小と呼ミクツナ名一クツナト申島群ニヨリカ (42)
 を齒の類駁はるて手に手の着るな方右ふ帯を等飾頭飾耳の製且てし
 りな器武の種一るれ作て以



てしに族一の族一レマるす住にオネリホは族種クツセイタ (41)
 すをを刃るな利説はるへナ横に種の小るらせ分區に族小の多幾又
 しに輪るたみ包てに總鍔置き細な藤はるけ巻に胸の女少、りな刃る
 すなと飾装てれ連を等貨銀にれ之て



(115) マカプサイ種族はモレスビー島の西南部半島の南端に住する
 シト系統に属する一族なり其服装の物を着するは是れ歐洲人

に於ては以来の風俗なれど頭部に風呂敷様の物を纏ふて一種の被物
 とすはマレー種族の元來風習なり



(116) シアグア人はシアグア島の東半部に住する者にして西半部
 はサングエニスと稱する別族生存す然し共にマレー族に屬す

男子は頭部に自ら模様を畫きたる一種の更紗を纏ふて被物となし又
 腰部にも同様の物を巻きつくる風あり圖は喫茶中の状態なり





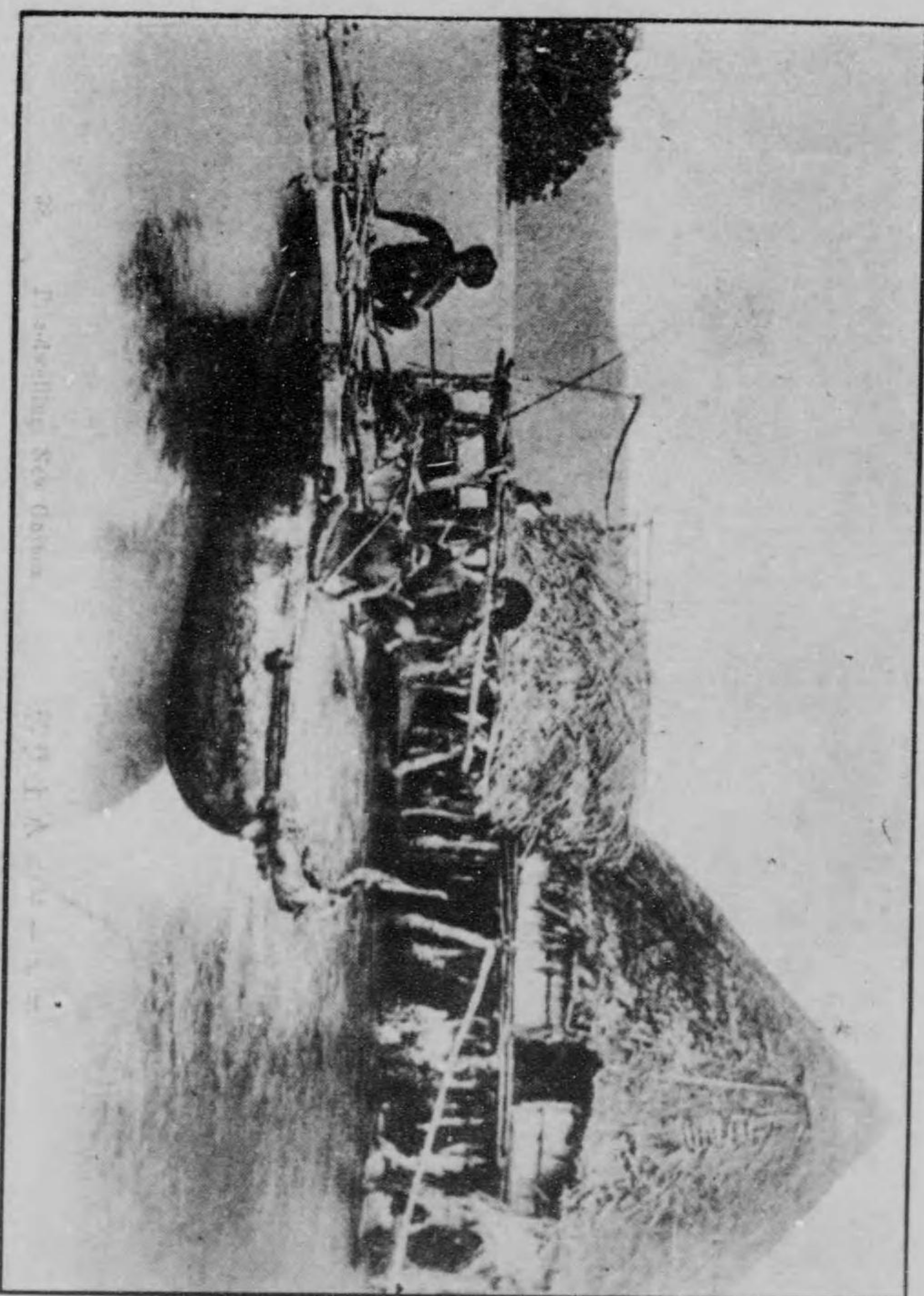
のもすなど居住てり造を屋小に間枝の樹大はにニギーユニ (46)
 用を子梯るな全完不はにるす降昇ふ云と居住上樹てん呼をれ之りあ
 する蒙を撃襲又さるお便のる得り知にか速を來襲の敵は居住上樹ゆ
 ふ云とりなのもしり起りよ等るあ刊に



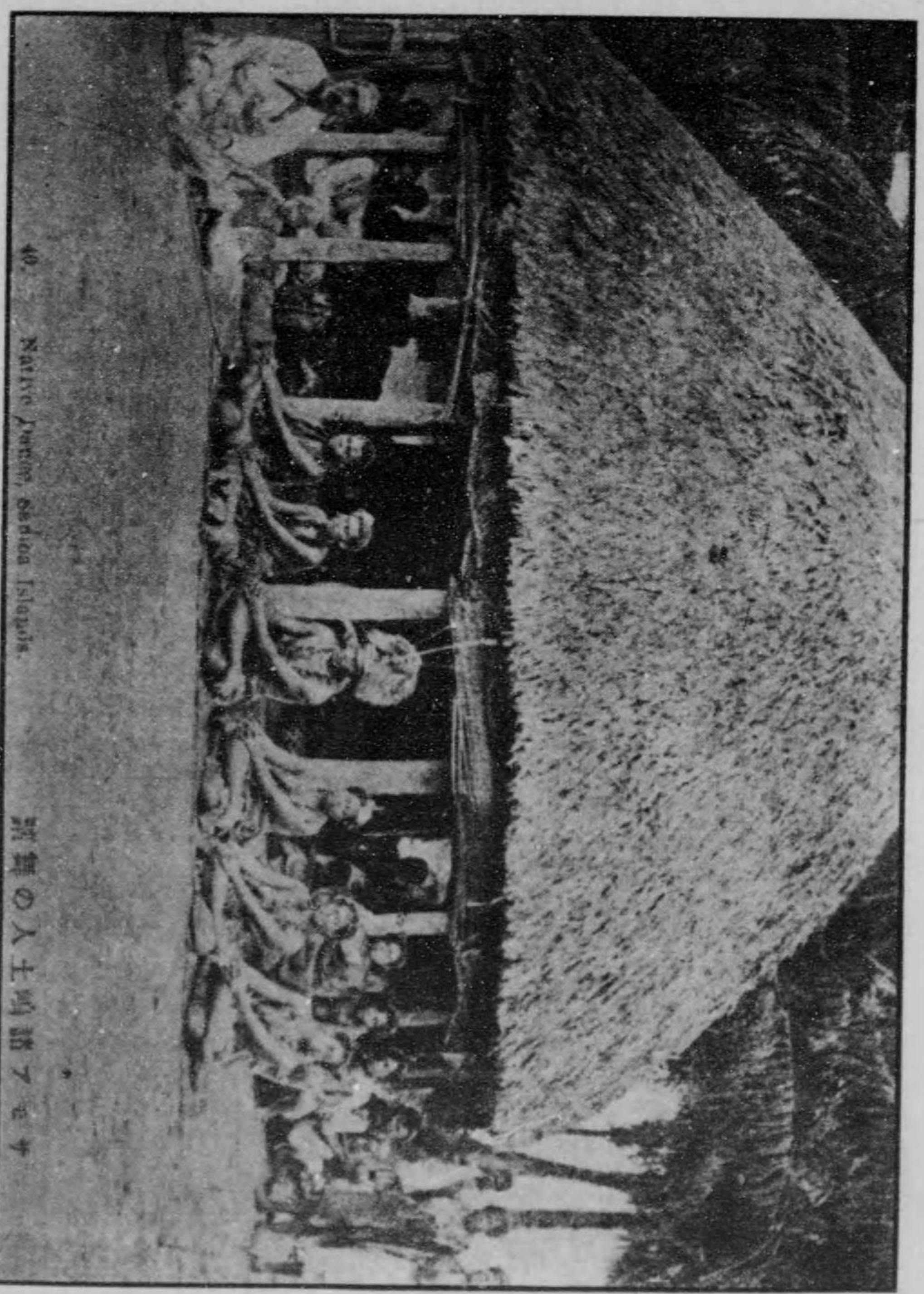
す途に年成はに種人の開未りな踏舞の人士島群クーマスヒ (45)
 舞、るらぜ演際其は此ふ行な式るな大盛め爲るす賀祝をれ之げれ
 の様のみるれ作てに葉樹り被を面假は者舞演てしにのしるたし示を
 りな鼓大るたり作てり列を木はるて持に手に在に傍ふ纏を物



あり故に其美觀を致してバプアングエニムと云ふ水上住居は漁獵に
利あると害虫の襲來が免るゝと汚物を捨てるに便なる所より起りし
のなりと云ふ



(17) ニエトキニに海中はに柱を打込め其上に架屋を造りて住居
をすものあり時には多数群集して大なる村落を形成するもの



(18) サモア諸島土人の舞臺にして演舞者は地上にむしるを歌き其
上に座して上半身を運動せしむるにあり





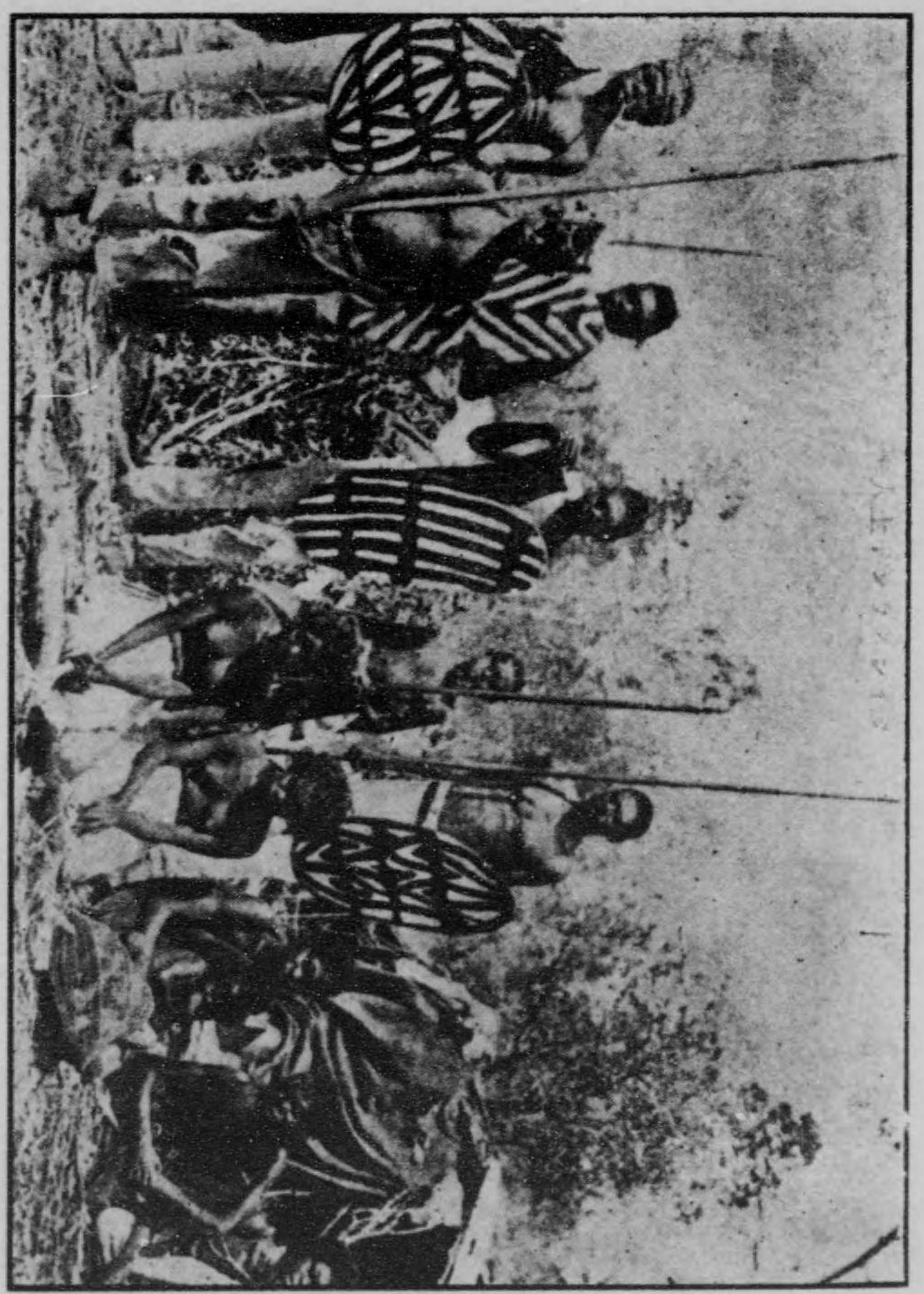
に面顔は子男てしに人士のドンラーウーニは族種リオマ (50)
 の麻の種一はに身共女男りな名有て以をすなを身文の様模るな複雑
 なと飾装てし挿を羽鳥はに部頭又ふ選を産るな大るたり織てに 綿
 りな棒の形鎗す示を分身のるた長筒てしす非に鎗はるて持に手す
 す稱とニハなれ之



て以なるす早を色褐暗膚皮れ留髪頭は人士の島諸ノモロソ (39)
 装を風の人士ニキーユニ更殊は髪頭の子男るけ於に申闘すなと徴特
 りな鎗はるて持に手りなのもるへ



結果と見るべし男子の左手に持てるは楯にして太き條を纏きて一種の裝飾となす楯は極めて長くして唯一端を鋭く尖がらせ目的物に向つて之れを投擲するにあり



(51) オーストラリアの土人は恐らく世界の諸人種中最も開化の程度低きものなり然るに男子は白キヌガンを穿き女子の腰巻を纏ふが如きは是れ元來の風俗には非らずして歐洲人と接觸したるの

ち之れを耳の邊に於て束ね纏めて垂るゝここの圖の如し衣服は男女共毛皮を以て作り其形狀能く類似す



(52) エスキモ種族は其分布最廣く此圖はアラスカの西海岸に住する者なり女子は頭に縫綴の入髪を施して裝飾となす男子は頭の頂上の髪を短くし周圍は長く之れを束ね女子は中央より左右に分





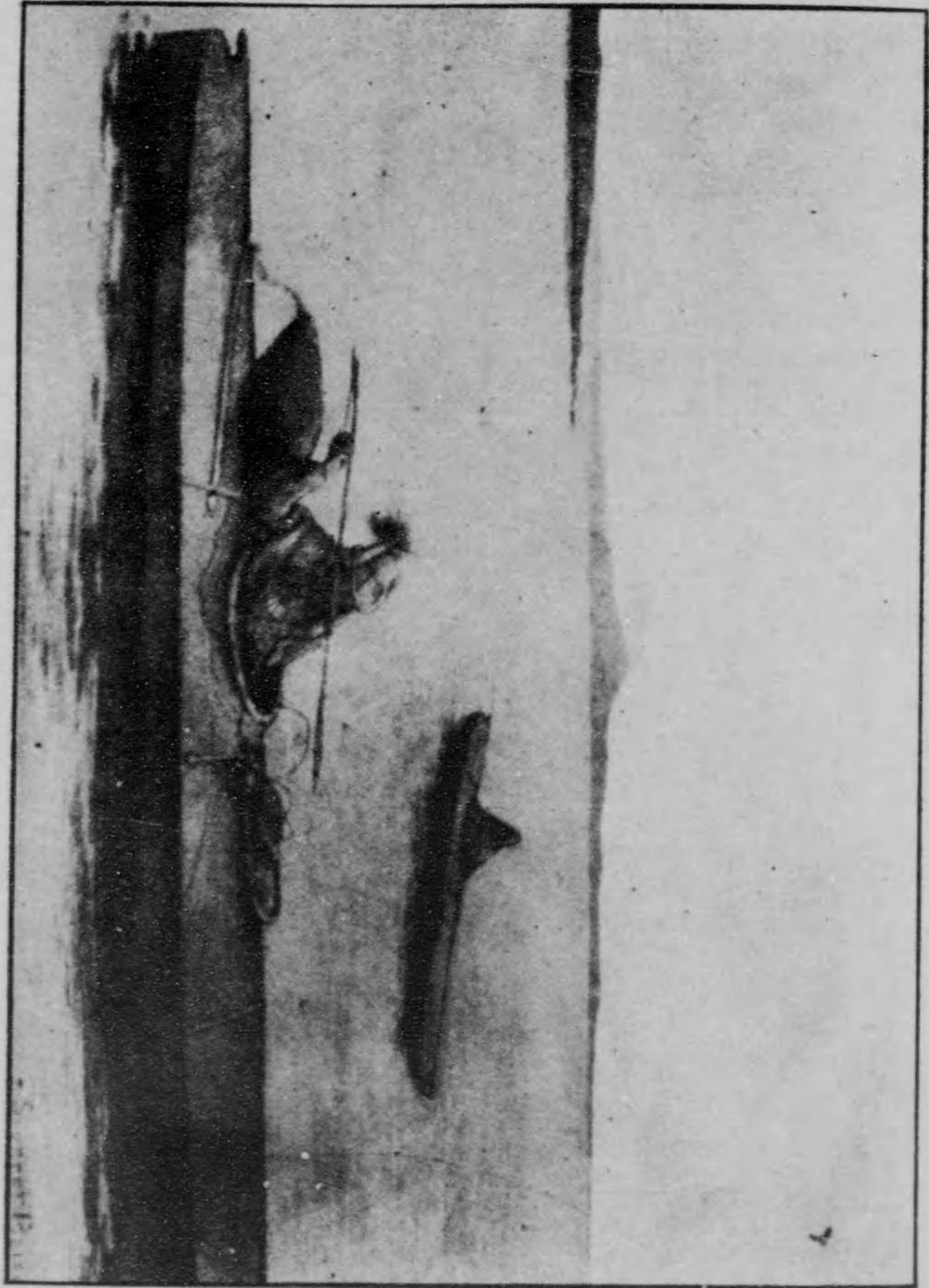
ノーユニび及部東の落部ナソリアの國衆合米北は族種キモ (54)
 者婚未りな者婚既はるな右女婚未はるな左りな者るす住に州ヨシヤ
 のもるたし模に實其は者婚既り象に花の類瓜南は髪の方婚未りな
 す明表か事るた者輩既は者後し示なとこるた女處ち即は者前てしに
 りなのもる



此てしにのもるす住に部北アリトスーオは族種ラーヌア (58)
 の状線るせ起隆に部各の体身ばれ至に春青くな別の女男は人士の地
 す稱と飾傷なれ之すなと飾の種一てけつを傷



之れに搭乗して大海に出て、或は投針を以て漁蝦をなす船には長き紐を以て浮籠（圖中人の背後の卵形のもの）を結び付けあるが故に之れを投擲するも行衛を失ふことなし



(75) エスキモ種族の輕舟を呼んでカワツクと稱す長さ十八尺幅二尺木或は鯨骨を以て組立之れを毛なき海狗の皮に包み中央に近き部分に僅かに座乗者一名の出入し得べき圓形の孔を設く小舟なれども乗員の外能く二十四貫位の荷物を積み得べしと云ふエスキモ人は

して之れに自ら織りたる木綿或は毛織物二枚を縫合したる袴を巻きつけ居れり



(76) ガトミ種族はエスキモの中部に住す女子は自己の縫びたる木綿のシマツの如き物を着す然し其材料は商店より購ひたる物なり而

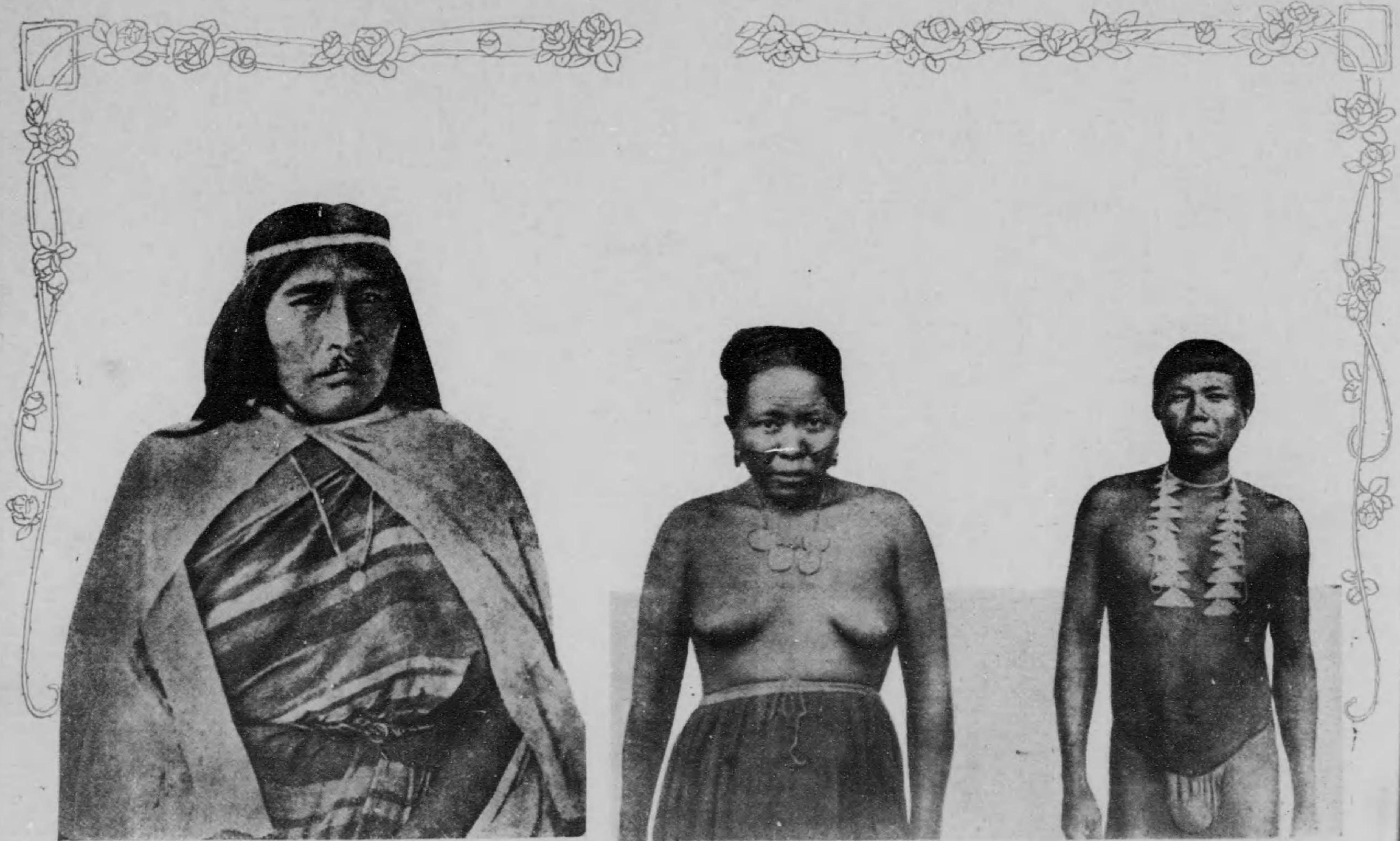




アラスカに連に之が部北西のトキベシは族種ドクエモサ (56)
 一の遊覧し持と等 (照堂) 族種ツマラてしにのしるす仕に部一の
 るよ川を引能と衣長るアリ休ては羊の放飼てしと主に期冬りな族
 し如がる長に副とこ



てしに采るす仕に方北の湖シローエヒは族種ンキョコルア (57)
 るれ作てに革の類軟はてしと服衣しなど飾装てし振か羽の翳はに頭
 バの此りなブイはるて持に手一穿り袴下の製革くじ同じ着を衣上
 る推れは之程時てしとのしす示を意敵は斧石又し床意か和平はブイ
 りあ風のる



界世てしに者るす住に方地アニゴタツ米南は人アニゴタツ (60)
 に従は尊上の人婦をけ於に中圖りな名有て以なるな大の長身中種人
 通の人アニゴタツリよ固れ是もどれ居りなど日つ三語所に俗てけ製
 の種特、るは現に的傳遺々代り限に族家一る或てしす非はに性有
 ふ云とりなのも

は子男りな族種小一るす住にアビシロツ米南は族種ノカツ (59)
 共女男すさ過にふ纏を巻腰にか僅も雖と子女てしに体裸とん吟に常
 りあ風のるす身文に腕ひ及面顔し施を飾項は或飾胸に



リナ器余於にるせに手てしに人婦のアビリヤ (62)



「シアヒンイカリメア」るせ住に國アビリヤ (61)



に右左りな異ミ物の國が我は秤天てしに賣魚女のマンラオ (64)
りあり列分部るす接に頸く可ふ用く長



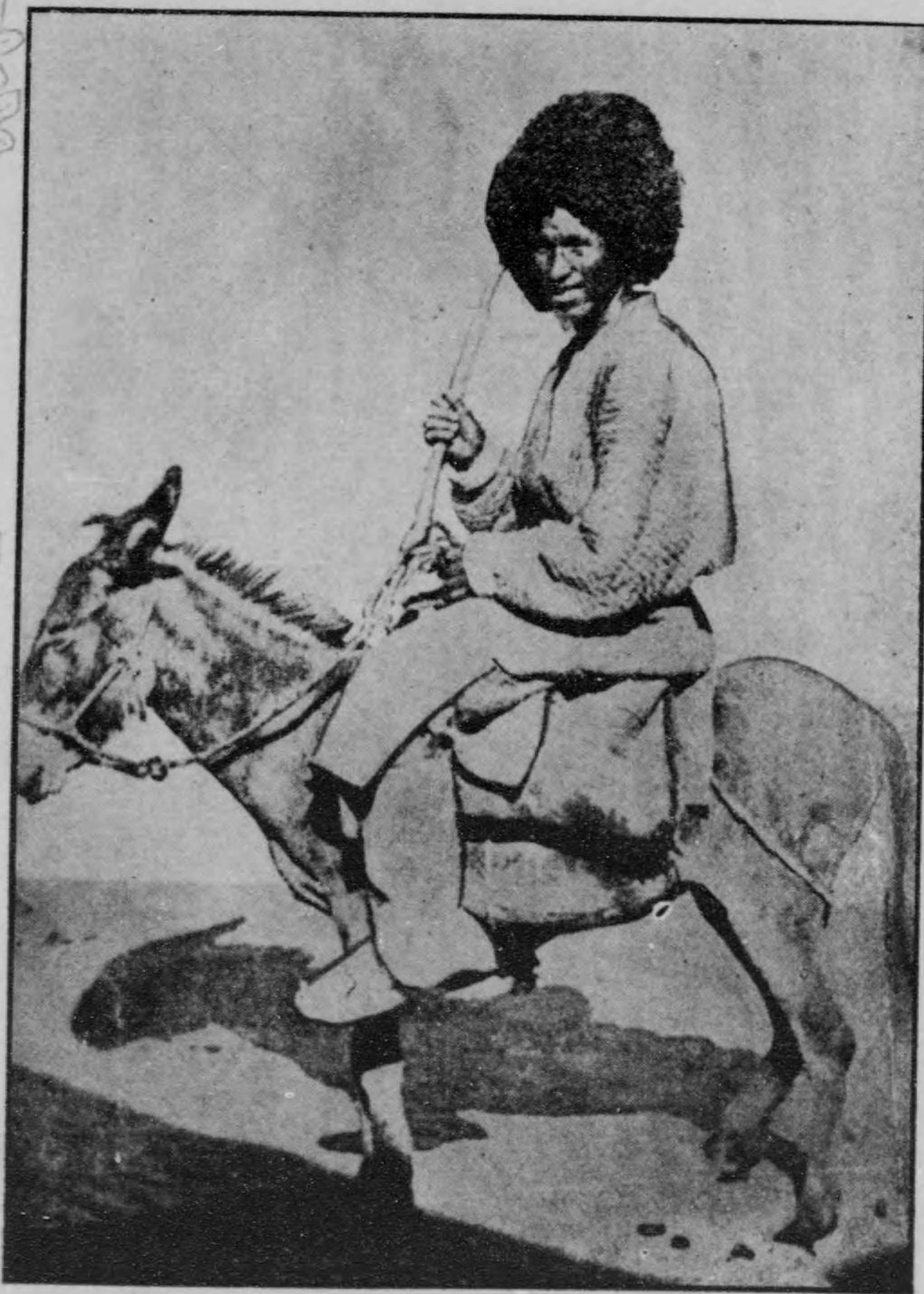
人旬印、カリメアるせ住居に近附河アケラア國ルツラア (63)
(族ユジョアゲハ)



人しごれす仕にコルト巴羅歌び及コルトアツアは人コルト (66)
 りな者るすふ同を統系と族種諸の要主アツアばれすりよ上種



夫農のソイマス (65)



コクト通普てしに者るす住に方東の海夷は族種ンマコクト (68)
 身よと袴と衣上の形ツアツは服衣りな族種別はと者ゝるらせ稱と人
 す是え狀鉦圓に上の巾頭はに頭め締を帯の織毛は或綿木にれどり成
 く戴を帽の製毛羊る



しに民牧遊るせ布分てつ當に方北の海夷は族種ブーケルキ (67)
 は子女りな産財の二無は畜家他其馬鹿駱しなと居住て以を張幕天て
 の般萬るけ於に庭家等るす縫裁を皮獸る少用にれ之つ且り張を幕天
 場市てに馬騎てしに健強ら自休身て以を是すら可るざせ理處を柄事
 ふ云さし如の子男しか恰は様有る到に



南アフリカ共和国北部及びアフリカ北東部民族ショナ (67)
 に属する其の人々をアフリカで最も古くの人々の部族の一人として
 認めるは、其の古くからある文化に於ては、別個に二つに分れて居る
 部族の存在を示す。此のショナは、其の古くからある文化の中心に
 あり、其の「人牧」として知られる。



南アフリカ共和国南部の河ナタラのショナ部族に属する (68)
 種々の飾り物と彫刻の点及び彫刻の点に於て、其の文化の中心に
 あり、其の古くからある文化の中心にあり、其の「人牧」として知られる。



北東のザンビア湖の大カリファは族種イヘサ (72)
 を土粘び及脂肪、リ然に状縮るな小なれ之は髪頭、のしるす仕に
 下に垂耳を殻貝の種同又、すなご飾装てへ添を殻貝るな大に更け着
 すと飾てけ

人黒論勿てしにのしるす仕にカリファ部中は族種一オンモ (71)
 のしるたり作てけ傷に更殊は起隆るけ於に部額前、リな族一の種
 のしるたじ混み煤に油樹は髪頭。リな標章の族種るす屬の己白てし
 ぶ標を符認るたり作てに毛尾の象外の環鐵は首り塗を



に人黒しどれなのしるす住に部南のアシピアは族種ラセ (71)
 どれき、す反に族ツミハに共と等(照参4)人トフジエてしす非は
 すらか影も者るす混を液血の人黒はてに日今



に種族此、のしるす住にカリファ部東は族種-セロドシラ (72)
 此し若、りな義のと(民人き無産財)てしにのしるすけづ名の族
 せを状筒はのしるて穿に耳、りなばれな族一るす涙浮を方由同は族
 。りな品飾装の製木るす

(77) オグアマンの種族は元朝領南アフリカに住するものに
 テオクソール族と稱する黑人の一族なり、處女は軍に帯を締め之
 れに南軍玉の裝飾を施したる長さ革紐三四十本を帯るゝの分なりと



も既婚の女子は長き帯に纏る腰巻を纏ひ更に革の外袋を用ひ且つ
 半にて製したる圓の如き一種の被物を戴く既婚者にして之れなきは
 禮を失ふ事なり。

(78) ヌカキ、瑪族は北米作に所するクマリアの北部に棲息する
 ものに、て男子は頭髪を長く貯へ之を正甲線にて左右に分つ



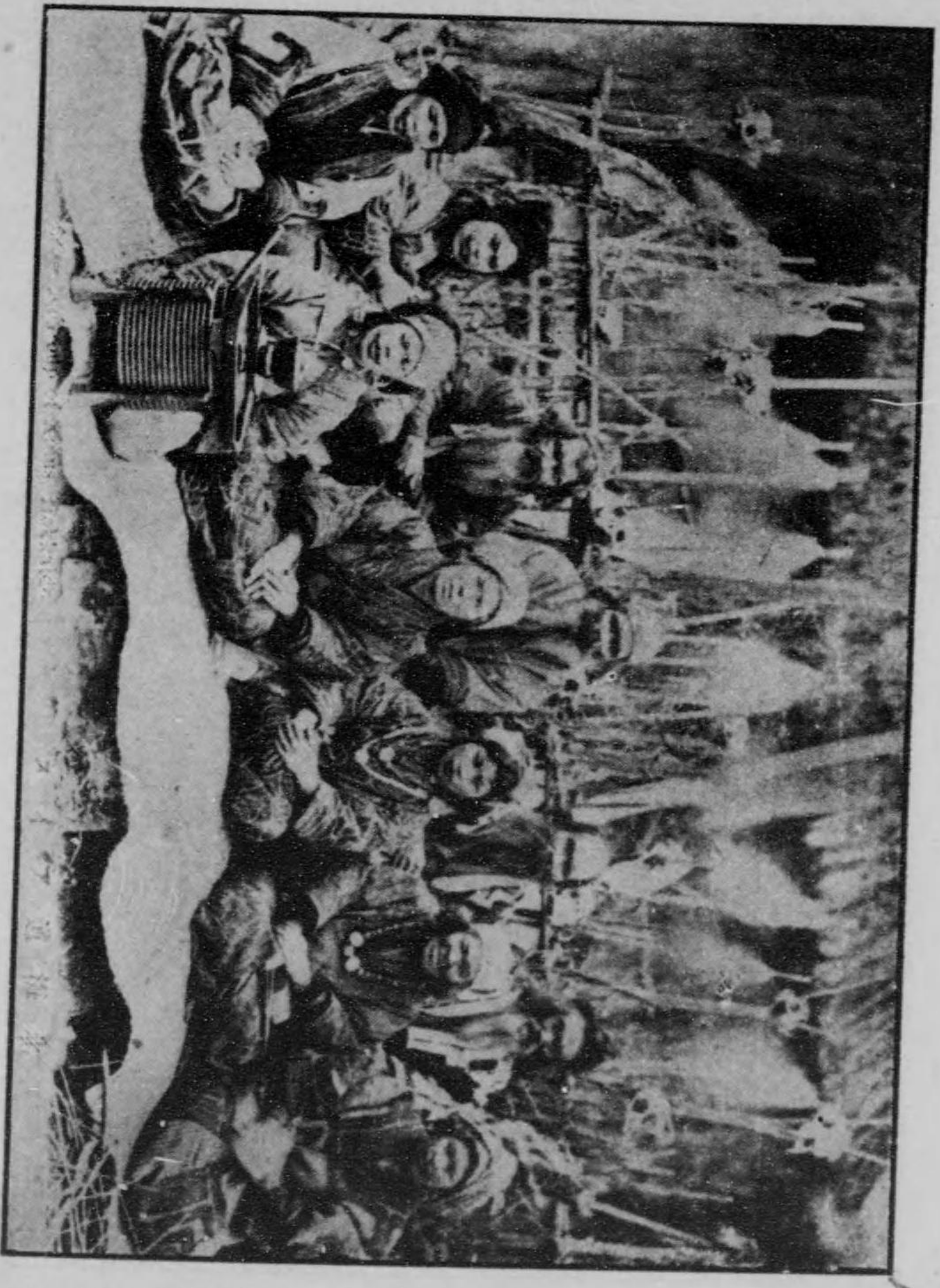
のみなれども女子は辨髪となして之れを背後に垂る、衣服として皆
 獸皮を用ひ。





(10) アイヌは我が北海道、千島の一部及び樺太の南部に住するのほして世界に於ける特種の一族なり。されは其人種上の別

屬に就ても議論區々たるを免れず假りに其特微の二三を捕へんが何れの人種にも屬せしむることを期待して是れ所屬問題の起れる所具なりとす。



(11) アイヌ種族は黒龍江河口附近及び我が樺太の一部に住するはごも、其民族はシベリア、及びオロク種族等の種族との別が異なる所あり。衣服には従来鼠皮或は海豹等の皮を用ひたりしが現今は天鵝絨、毛織物を以て之れに代ゆるに至れり而して其形狀は支那風、露西亞風等一樣ならず。





もろな部上てしにのしるす仕に部の髪奈は族種ヤイタ (89)
 りあ稱の著面暗名一に放がすなを要入に面顔に共女男りな族一の
 なな特首徳同と等「照登82」族種オカーフィの島群ーヒンエイア
 りあ風のす



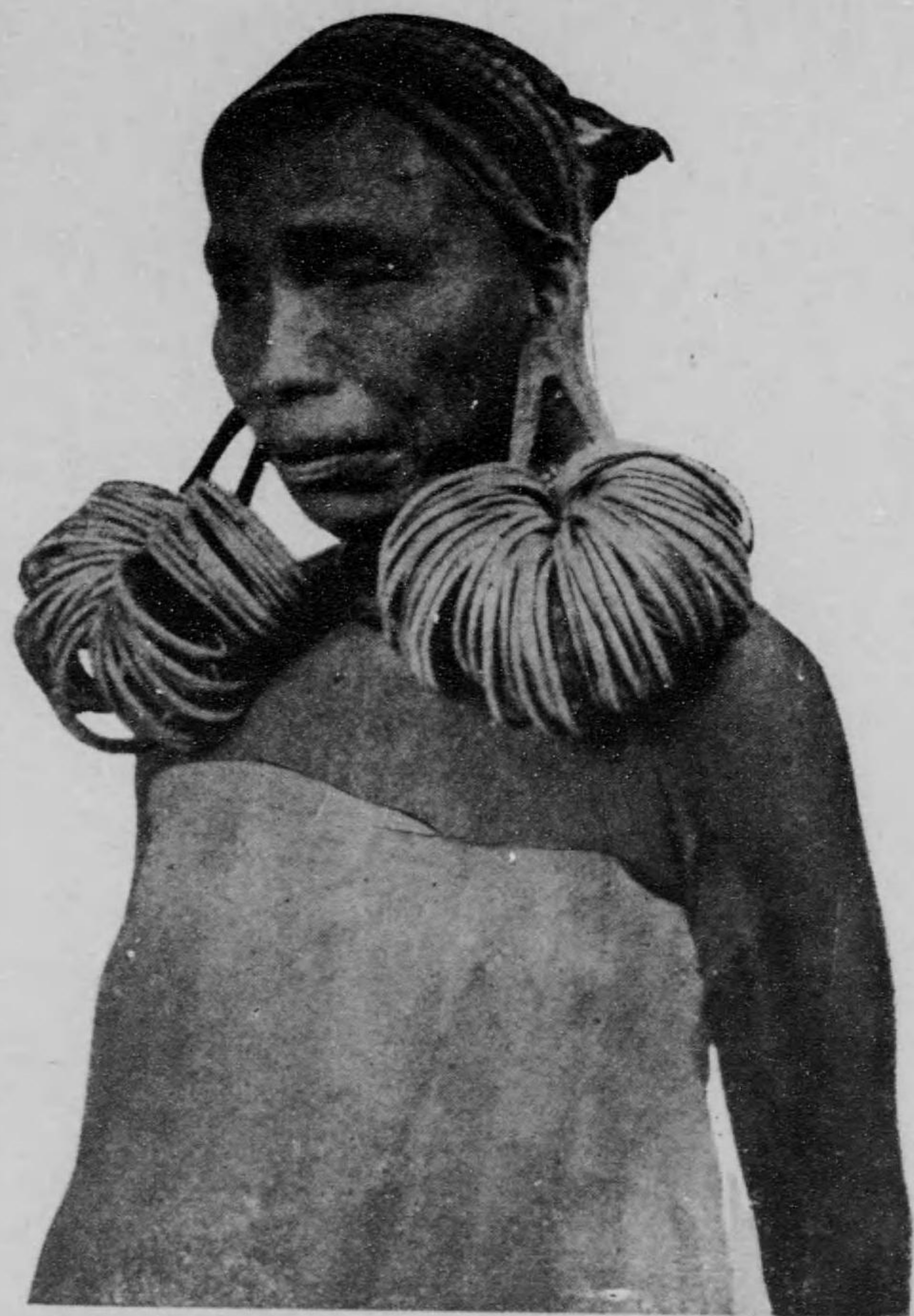
右の中人黒るす仕に端南のヲリツアは族種トツトツテツホ (81)
 此てしすら許には質性的的病れ是るせ大膨の部唇りな族一るな名
 しはのしるす因原に積堆さし著の助胎下皮は此、りな徴特の有通族
 とる見われ之亦も子男、す出現を徴此大漸が隨にるす遂に歸妙て
 りな大介房乳てりあ體持此しンマツツ族隣すらな大著し強



毛袴てし比に子男は子女しとれな雲散に共女男は人ムアシ (81)
 けし後を分部るたり受其の器に部腰を布の標教呂風けてしと服表し
 唯てしに一同くな別の設費女男は風此りあにむ按に而前てし頭な股
 りなみの方町下高に料材



りな族落るす仕に境浪のとマキセと省南実那支は族種葉栗 (82)
 の圖本く巻てに布麻くじ同な頭が麗を服衣るたり作てに麻に共女男
 りな箭はず種に頭の子男



婦のしるす住に部南西の州ムツア、ドンイは族種一ロガ (86)
 のもるな大すなと飾装てげ下に耳各を上に個十五環耳の製鍮眞は入
 す了終の儀葬其は時るたが失を夫てし而ふ云とす算を寸四徑直其に
 りあ者るさせ用佩を之び再後以に時し去除をれ之はである



のしるす住に州ムツアなる部北のドンイは族種アキアレ (87)
 す似類く能も最と「照参」人敬四てしに

(57) 昔族は現今主として支那貴州省に住するものなれ共漢族の侵入せざる本邦にありては、廣大なる土地を領したるもの、如く三箇と稱せられたるもの即ち是なり、此族を區別して黑野自由



花苗等と稱すれども、此は主として常用する衣服の色に基きたるものに過ぎざるなり。

(58) 大ニ種族はインド、アッサム州の東部に住するものにして其性共に極端殺伐を好む處女は頭髪短く鬚鬚者は長し又婦女時代には首飾、腕飾、腕環等の類を佩びて身体を裝飾すれども一度有失



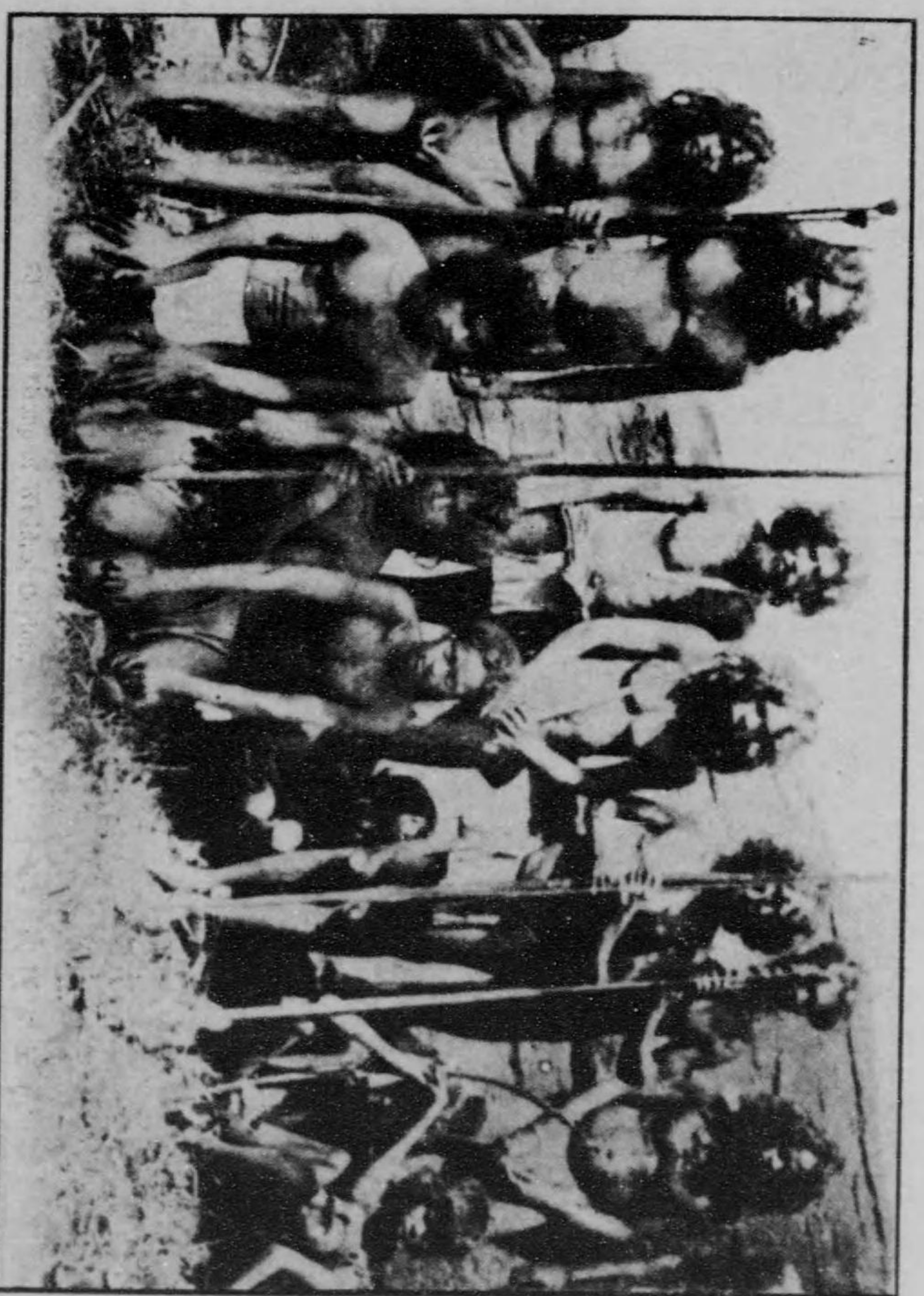
の身ざなれば悉く之を除去すと云ふ鼻を狭めて平圓形のものを見るは是れ一種の鼻飾なり。





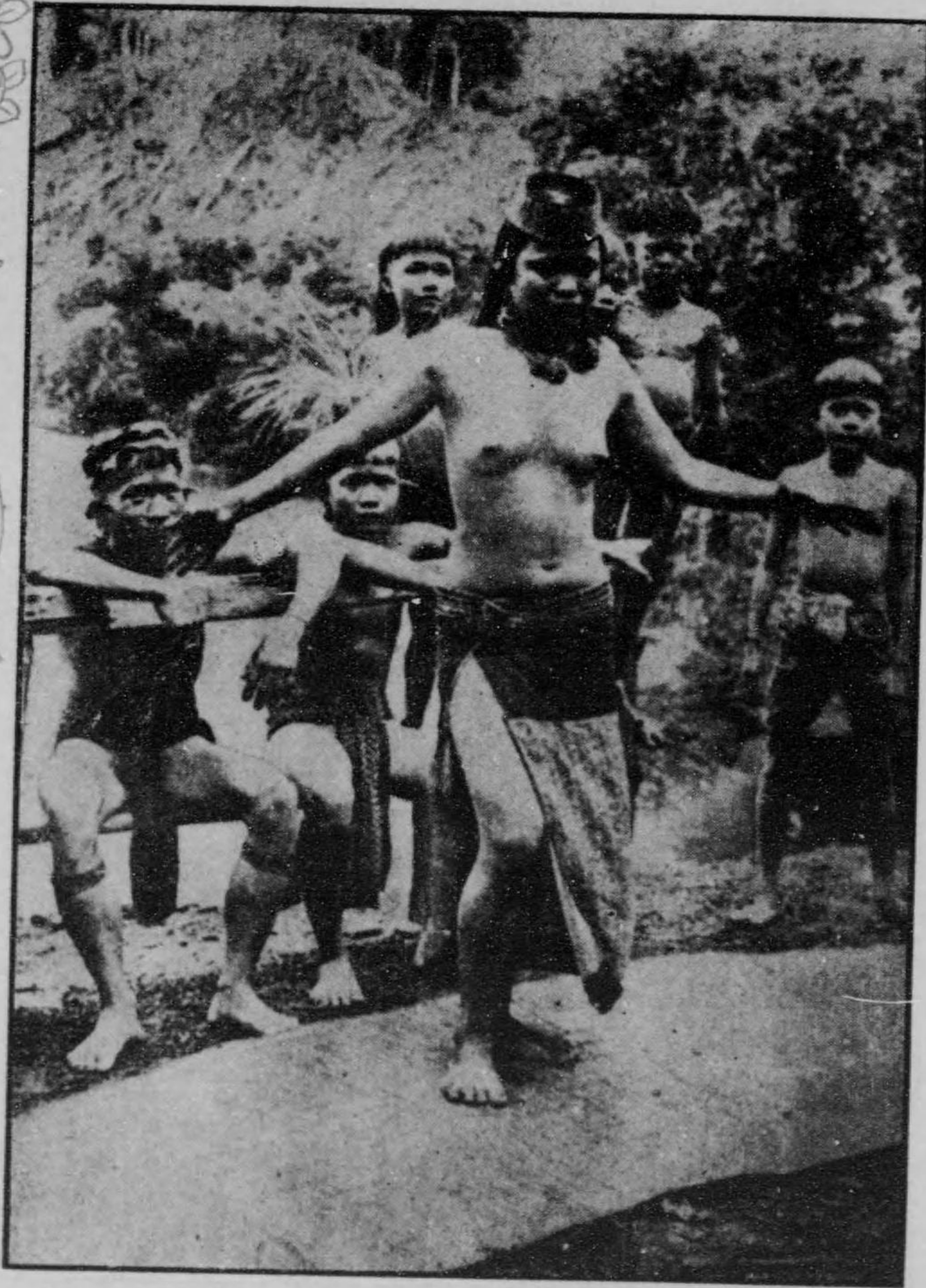
(400) グエヌ族はモロツ島に住するものにして、トコ族一等参
照一等と共に、カラウツ族の部類に属す開化の程度は甚
だ客にして僅かに腰部を蔽ふに過ぎず

(ドンド) 其家の族—ドンド



(89) ビンズ族はインドの大強弩に住するものにして人種上より
すれば所謂ミクロネシア人とを悉く同化するものなり

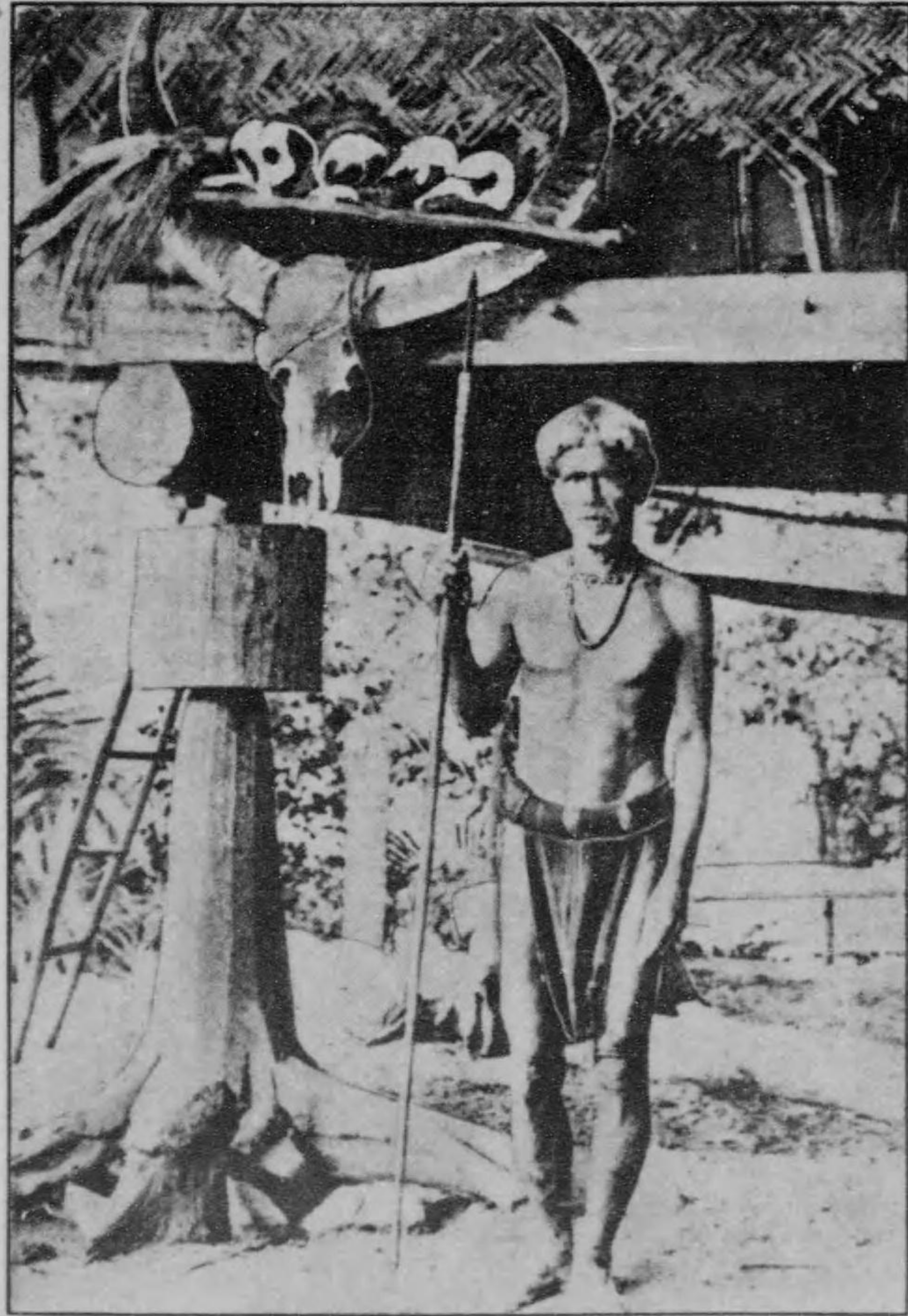




種クンアイダてしにのもるす住にオネルホは族種ーアニケ (92)
 祝祝リヨヤに時々取に別本りあ原湖の棲密上種人ばと「照参3」族
 ふ云さりな雅温つ且てに漫漫は作助共てしに舞舞、るさ催に宴の



め極てしにのもるす住に地内の部南西ラトマスは族種マッ (91)
 筒竹が子女に圖本すめたらあを風の人食向も今み富に性氣の伐殺て
 りな様のるす搬運てれ入を水に

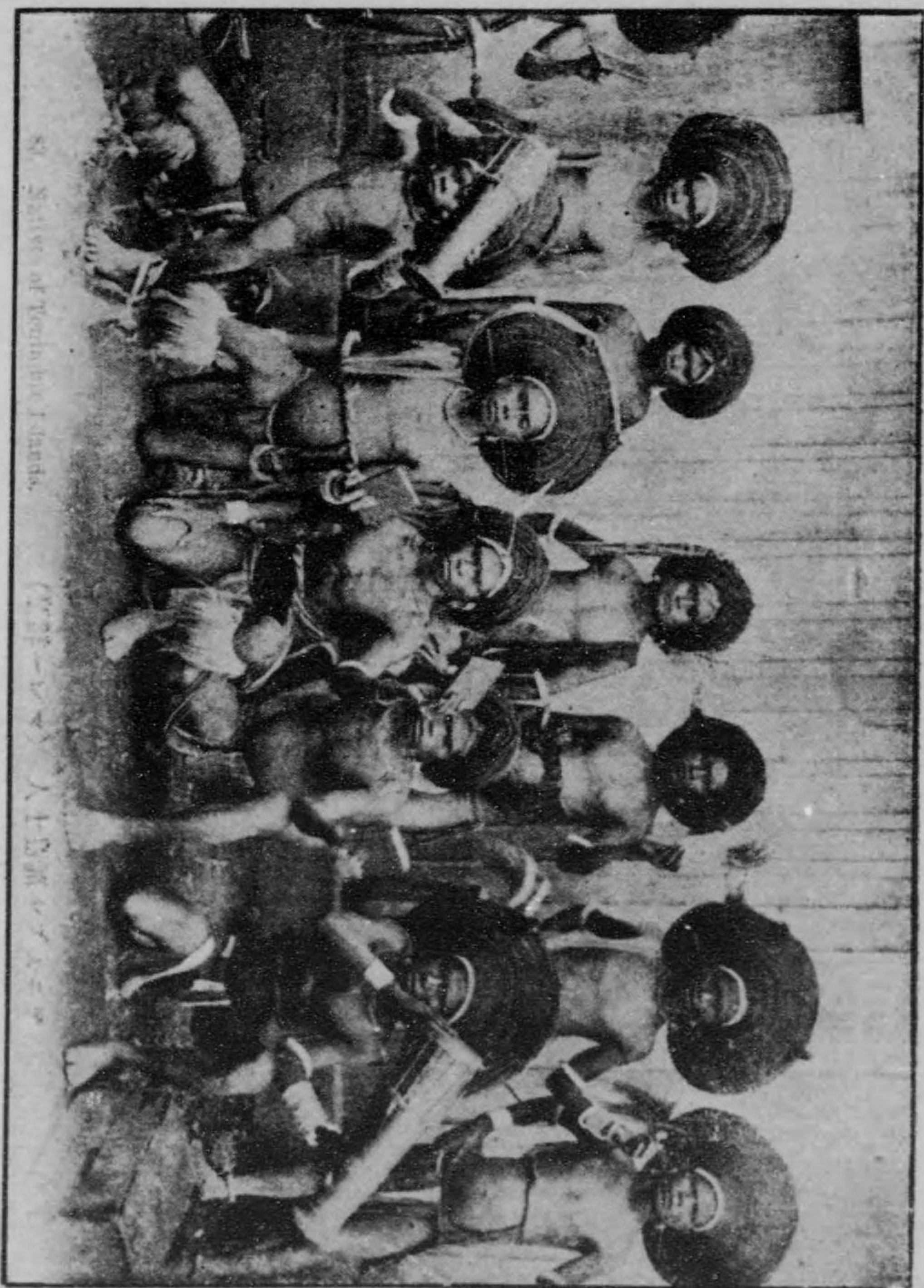


もろす住に島々々中島群のヒツヤニフは族種オガーフイ (91)
 に種人の統系ローマ様同と「照參31」トマロマイタツトシホてしにの
 入るた得てりまに符首は別本りみ袋のすなを符首てしに低級性す屬
 示すを標るを置安んを符標と符頭の



少は人士してしに島小一るす位に方東のアゲアジは島リオ (92)
 る母見に圖本す處に種人の統系ローマ様同と等「照參31」人アツア
 背に符首へ三と習風の來集は他もごれな俗見るせ化賦は表上の等彼
 しで得なる見とのしるせ有な包符の族ローマはき如の刀るべ佩に後

（92）



(95) ニエウ諸島はニエウ島の西方に位置する小さな島嶼の一群にして其住民はポリネシア系の種族なり魚漁狩猟農業等に依りて生活を營み官制りかなすの風あり

St. Saviour of Teohimua, Niue.

(1907年) 11月 11日 攝ル



(100) 7月 1日 所島の土人は人種の上よりポリネシア及びノボノボニア系に属するものにして其種族の同様に近きものなり本圖は彼等の典型的舞踏を示すものにして其種族の同様に近きものなり本圖は彼等の典型的舞踏を示すものにして其種族の同様に近きものなり





(197) トンガ諸島一名アムドリアトリングの土人はサモアより
 1914年8月の参照等の土民と親近せる間柄にあるべきものなれど
 本圖の女子は其容貌頭髪等より推すにポリネシア族の特徴を失ふ

ものあり恐らくは薩島レイジョー土人(1914参照)の血液を混するにあらざるか本圖は椰子の葉を以て四角籠の類を編む所なり



(198) タヌマニア土人はオーストラリアの東南部に在する一島タヌ
 マニアに住せしものなりしが四層千八百七十五年全く絶滅す
 に非れど同土人は南緯九度附近にして口は前に突出し、鼻、大

身長中なりきオーストラリア土人(1914参照)と人種的關係深き
 やに似くもの多けれど戀るメラネシア諸島の土人(1914参照)と
 に類似する所多きが如し





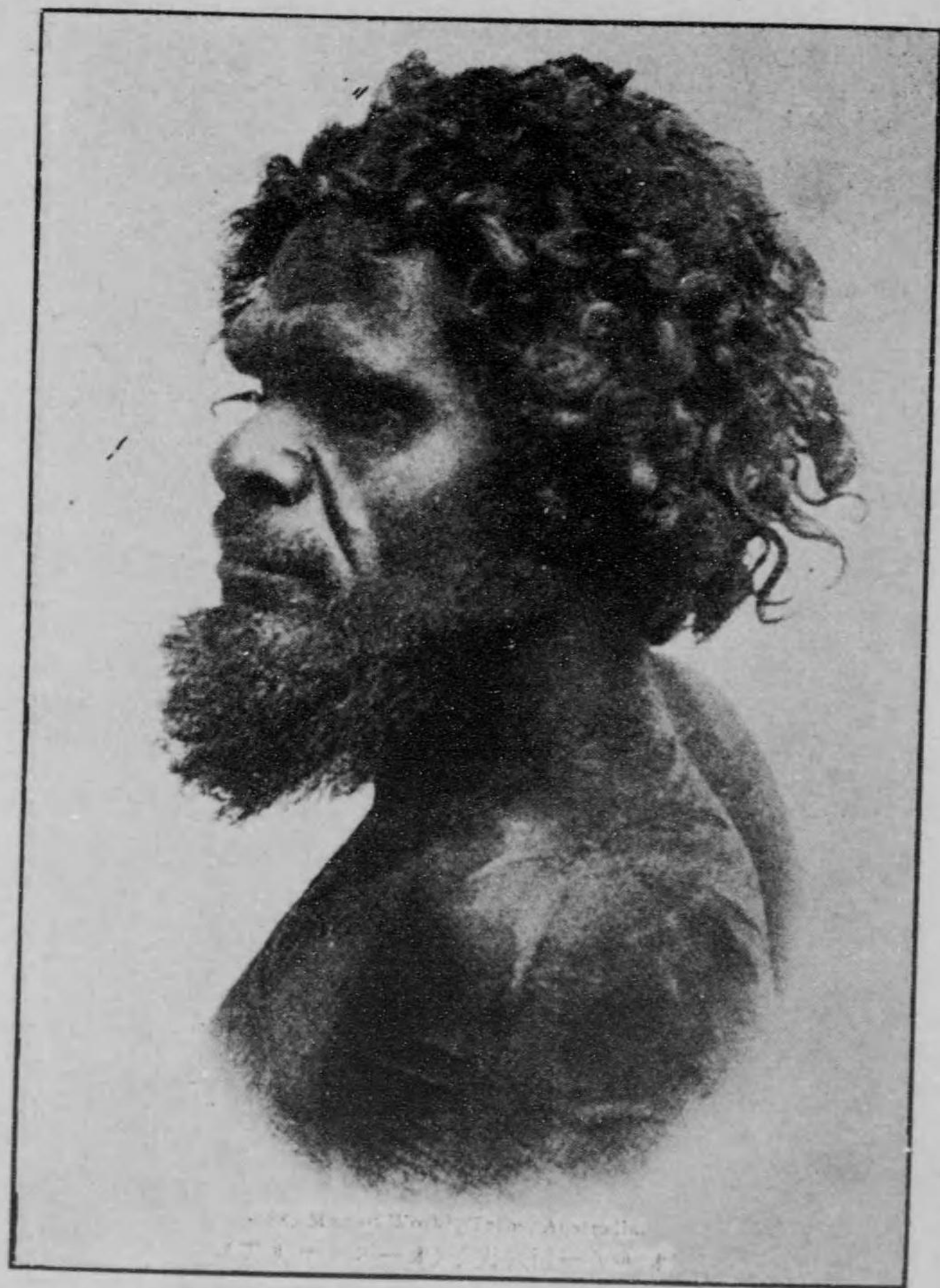
内領佛をす位に方東のアキローキはアノドロカニ (90)
 照 80 30 エキローキはアノドロカニは土種人は人士にして
 の塚野附未尙今に等質し如く知るす有る黒膚き業と等良士の「照
 ち知を用い矢号てこに極てめ極のしふ雖しだ片布に覆てりあに感状
 ふ云とよりあ風のそ此を内人は垣るせ民後てめ始の人佛す



「照 80 40」リオキ、キント、アモサは人士のイデム (91)
 舞ふ呼とラニセは國本りなのしめりか設係湖の上種人と人士の等
 太るたり作てに感はるた前てしにのしす示を装服の子女るす演を舞
 ふ云とし多節の的愛意は器舞此りな該



す布分てり耳にカスラアリよ部北西のメナカは族種ネテ (102)
 作てり皮鹿は服衣るらせ稱もミンカスバタア名一てしに族種大る
 分部諸め始を部頭てし而つ穿を靴にれこり成りよミンボズと衣上り
 し如の圖本とこるくつな品飾装に



本のもるす住に部北東のアリラトスーオは族種イギヤオ (101)
 云とのしるす備具を徴特の人オヤラトスーオく能視容其は男の圖
 「爾參科」りなのもるす稱と飾傷れ是はるあ條るせ起聲に体身しべふ



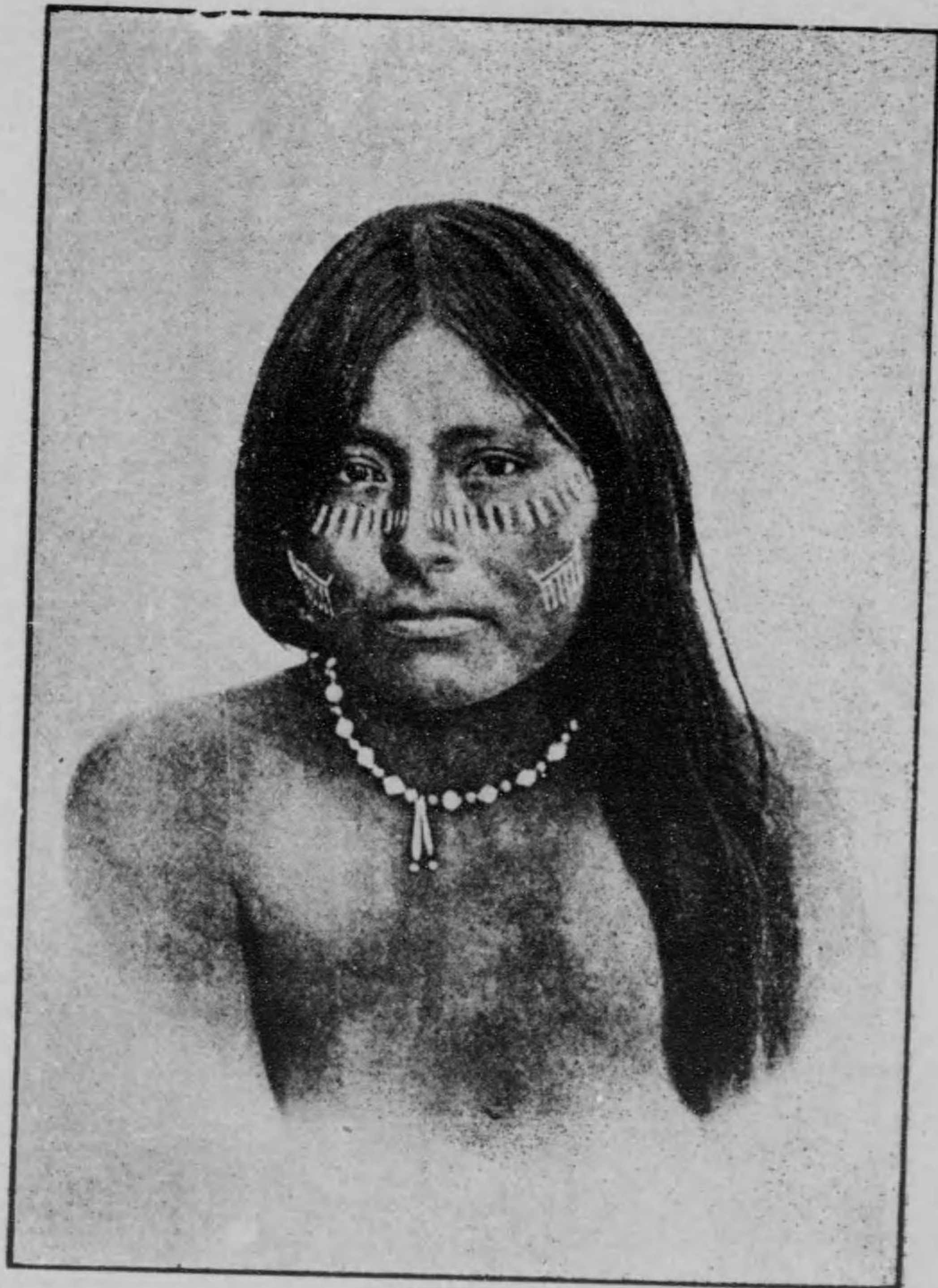
もろす住に等州ターコタ北南國衆合米北は族種ターコタ (104)
 子男りな族一るな要主のしるなアヤンイカリメア謂所てしにの
 たり作て以か羽の髪はに頭以用かこ引股と衣上るたり作てに皮膚は
 。リゼなとり飾の奇てひ佩る品飾装の種諸他の其く髪を箱の種一る



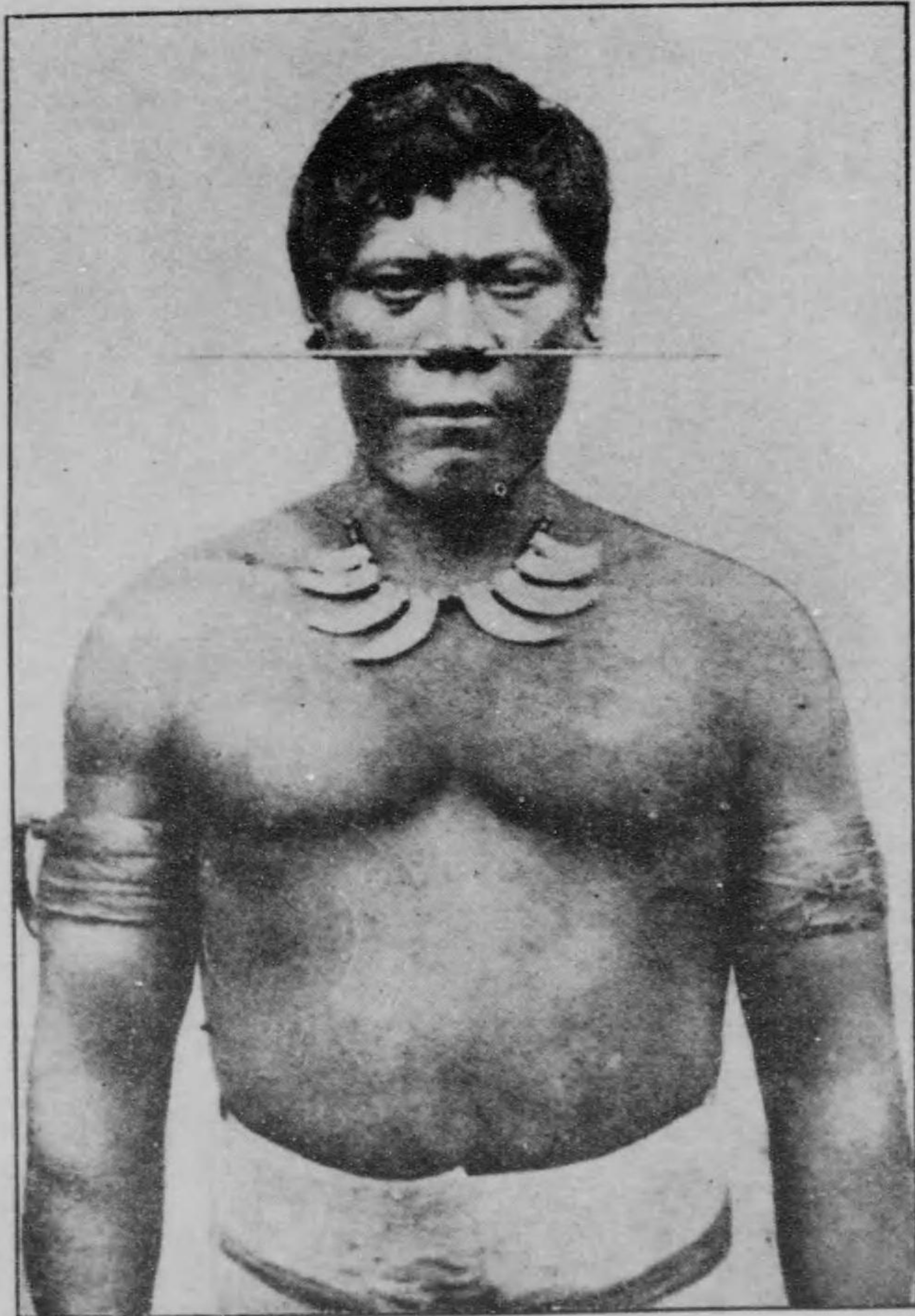
米元のもろす住に州ナメンヤ國衆合米北は族種ンヤーセ (103)
 ず着を物の機室外に上此も用をと膝脚と衣類は子男ばへ云か習風
 の長る作てに革の鹿牧は入婦の能上り過にふ纏を布毛はく若がる
 ずなを飾装てけつを類て玉京南は或説員にれ之し着を衣



てめ初てしにのしるす息棲に岸部北の米南は族種アリト (106)
 に圖は子女ふ云としりあとのるす人食は頃しり刻に方地同の人州歐
 など飾装てし入挿に唇下を挿るたり尖の製木は或説笑く如がるゆ見
 す施を飾装の様同亦もに重耳す



ローブするす在存に内海ナニルサフリカ米北は族種リセ (105)
 するす仕に岸部の「コシキメ」州ナニソるす對相されこび及鳥
 飾装さ畫を標模に面顔く如の圖て以る料色の貨物積は子女てしにの
 すなど



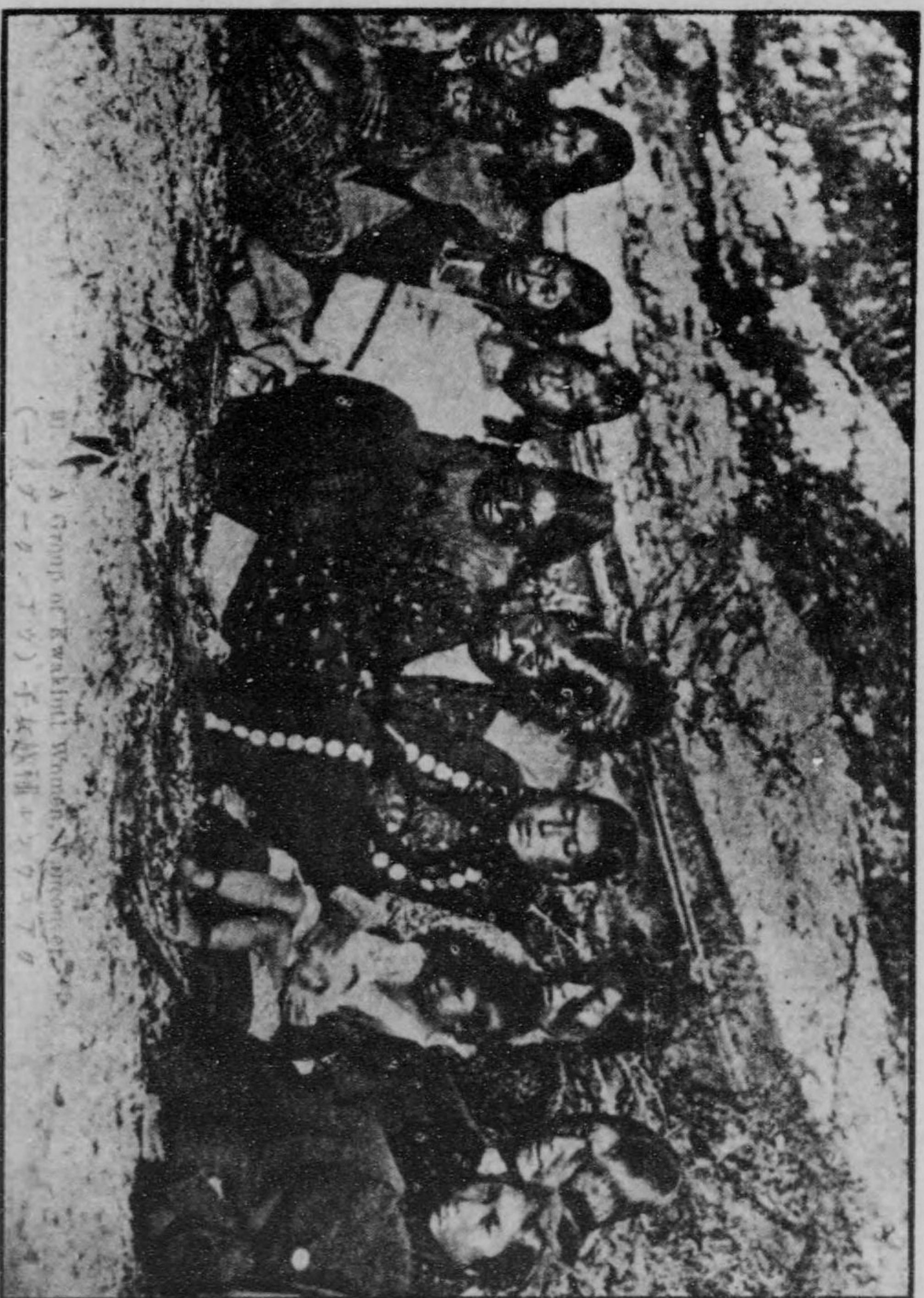
しにのしるす住に部東のアピムロ米南は族種ナハイヤ (108)
 飾装てめしせき質に壁基を棒に細るたり作てに頬の顔棕は子男て
 しく女は棒しとれるは行野風の種同亦しに人士のキーユニナ
 び及膚上すなと飾てけいなのしるたね連を牙齒の猪野はに類し列て
 な飾装の種一かれ是てしにのしるたり作りよ皮樹はめしふ纏に何取



木のしるす住に部東のアピムロ米南は族種ナヘロヤ (107)
 般に上頭てしにのしす示を装服の者るす波を舞るめ因に靈曲は圖
 のもふ纏に覆び及衣上のしるたし施を色彩にれ之り作てに木幹はく
 りなのしるたて製りよ皮樹しれ何は



(109) オーナ種族は南米の南端チリサルマリアエーゴに住するもの野蠻未開の狀態にありて獸皮を身に纏ふに過ぎず今日にては歐州人の古著を用ふるものあり



A Group of Kwakwaka'wakw Women, N. America (一) クワーカワックワ族の女子

(110) クアキワックワ族はアマゾン川の北端及びこれに相類するは是れ人工的に前頭部を展過して變形せしめたるが爲めにし

て斯かる形狀を以つて美人の相なすが故に捕獲に在りて生長する際變化せしめらるゝなり



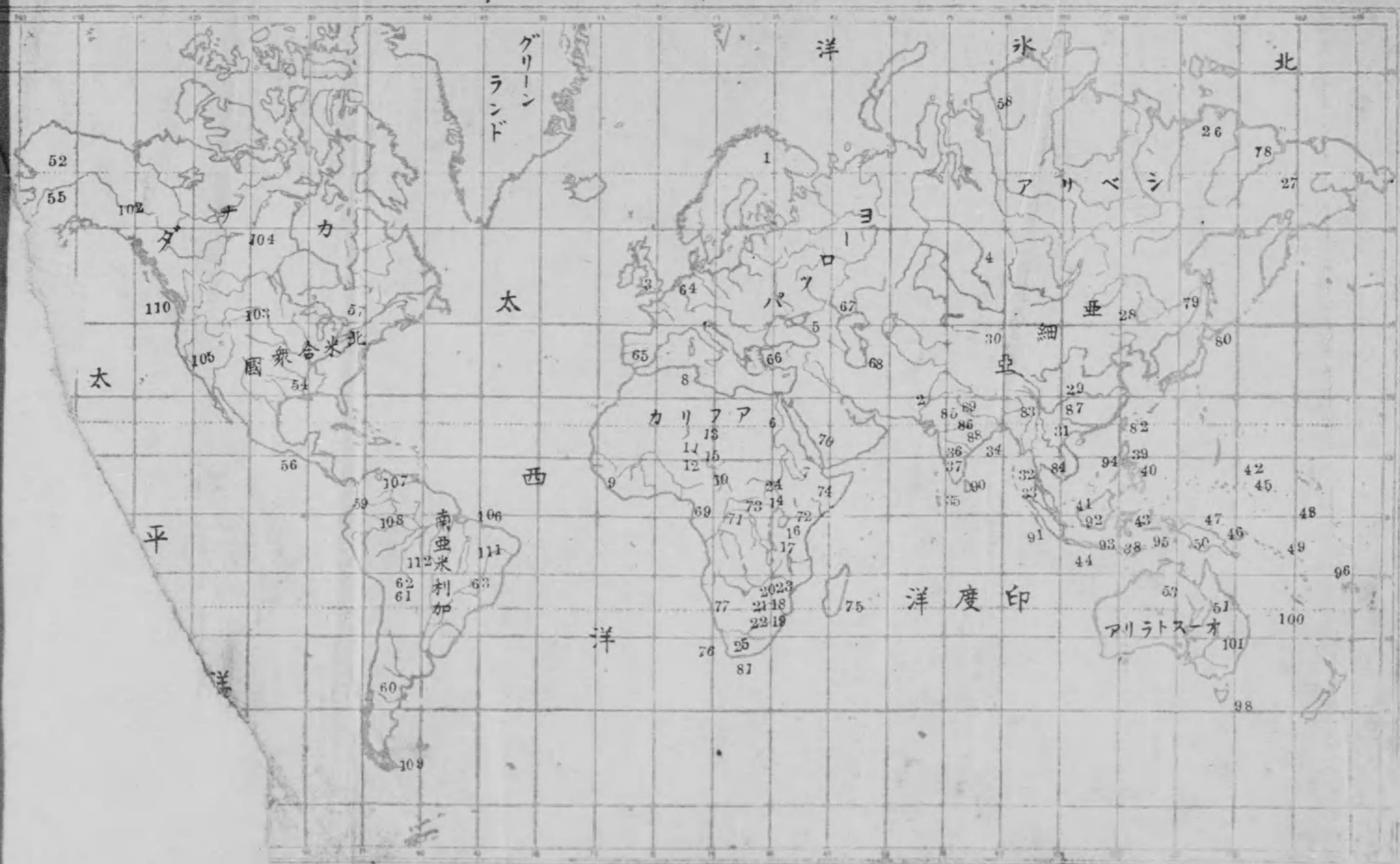


この地方に於ては、このように住む部族の南米種スコタマ (112)
 程の黒い髪と黒い皮膚を部族上の体身く低度程の化開に一般に人土
 すがかな少亦しのもき近に体

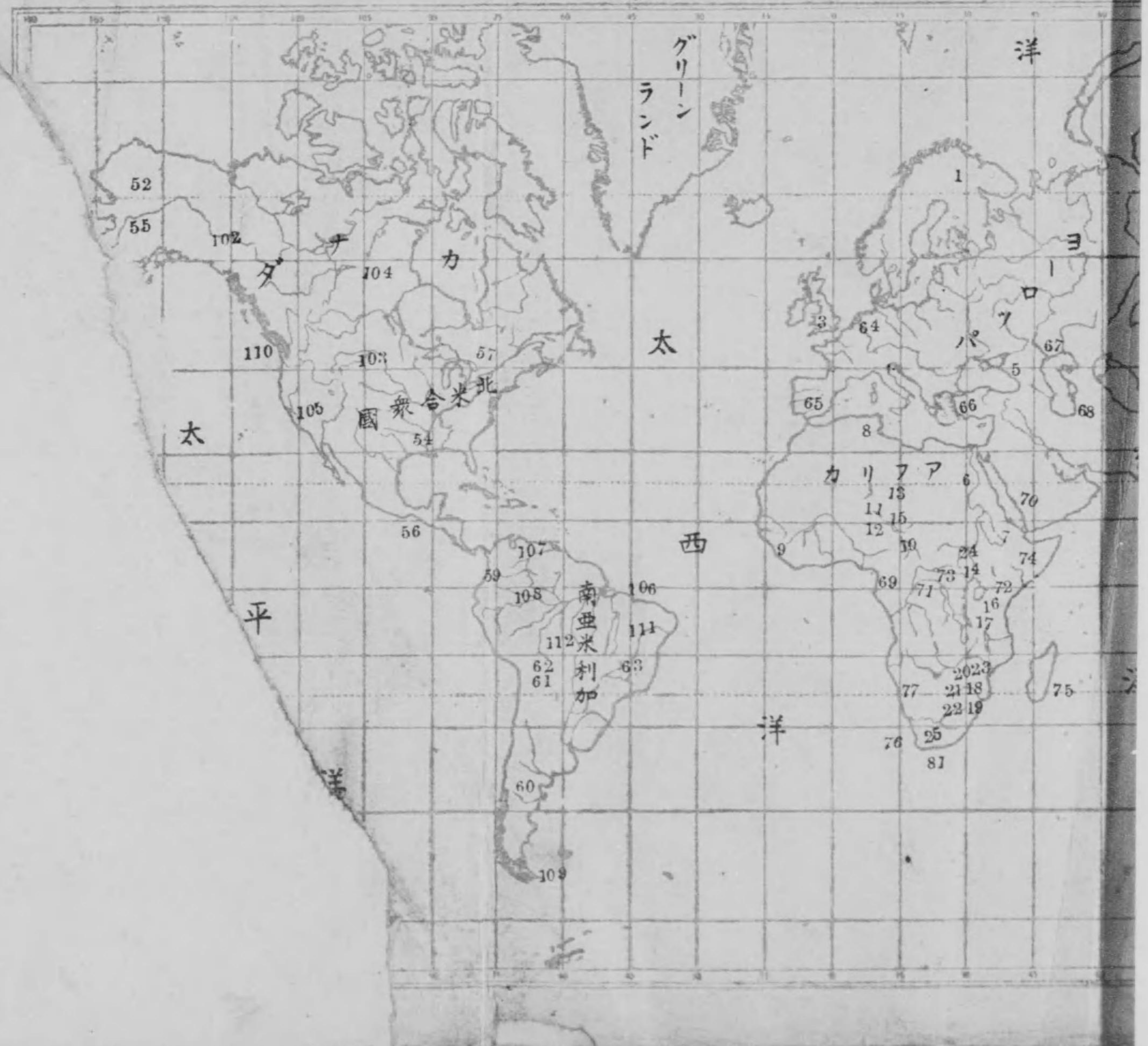


マゾナのもます住に部族のマゾラアは族種ドークトガ (113)
 往はさ如の族種此く多のるざせ彼を感の開未感野てじ識は人土の
 直へれるたれた穿に管下耳が下女は圓まきりあ風のむ食を肉人は時
 マゾラのしたしぶを植るため族の飾装の形制平製衣のす二約深
 以爾る起の名族リへふと(差の陸)ドガてん呼を本片此民人マゾラ
 りのに、こ

人種寫真分布地圖



人種寫真分布地圖



終